

青森市議会要覧

平成28年度版



青森市議会事務局

目 次

市 の 概 要

I 市勢

1 位置及び面積	1
2 人口と世帯	2
3 市制施行	2
4 都市形態	2
5 職員数	2
6 友好交流都市	2
7 市の木・花・鳥・昆虫	3
8 名誉市民	4

II 市民憲章・都市宣言	6
--------------	---

III 財政状況

1 平成 28 年度当初予算総括表	7
2 一般会計歳入	7
3 一般会計歳出（目的別）	8
4 一般会計歳出（性質別）	8
5 財政力指数	8
6 実質公債費比率	8

議 会 の 概 要

I 議会の構成

1 議員名簿	9
2 党派・会派別一覧表	11
3 当選回数別議員数	11
4 年齢階層別議員数	11
5 会派一覧	12

II 本会議の運営

1 定例会及び臨時会	13
2 定例会の審議順序例	15
3 一般質問	16
4 総括質疑	17
5 本会議の傍聴	18
6 本会議開催状況（定例会・臨時会別内訳）	18
7 議決結果一覧表	19

8	議決事件内容別件数の推移	20
9	議員提出議案等一覧表	21
III	委員会等の運営等	
1	常任委員会及び常任委員協議会	23
2	特別委員会	26
3	予算特別委員会	29
4	決算特別委員会	31
5	議会運営委員会	32
6	各派代表者会議	34
7	議会改革検討委員会	35
8	議会選出各種委員等	36
IV	請願・陳情	
1	請願の取り扱い	37
2	陳情の取り扱い	37
3	請願受理状況一覧表	38
4	陳情受理状況一覧表	40
V	報酬・旅費等	
1	議員報酬	42
2	期末手当	42
3	費用弁償	42
4	視察旅費	43
5	政務活動費	43
6	議員派遣実績一覧表	44
7	視察来訪実績	47
8	議会関係予算	48
VI	議会の広報	
1	会議録	49
2	議会報	49
3	ケーブルテレビ	50
4	青森市議会ホームページ	51
5	青森市議会議会報告会	51
VII	議会図書室	52
VIII	議会事務局	
1	議会事務局機構図	53
2	事務分掌	54
IX	議事堂の概要	55

資 料 編

I 議長等一覧

歴代議長	5 6
歴代副議長	5 6
監査委員（議会選出）	5 7
青森地域広域消防事務組合議会議長	5 8
青森地域広域事務組合議会議長	5 9
名誉議員	6 0

II 市長等一覧

歴代市長	6 3
歴代副市長	6 3
歴代浪岡区長	6 3

III 議会運営委員会申し合わせ事項

6 4

市 の 概 要

I	市	勢	1
II	市民憲章・都市宣言		6
III	財政状況		7

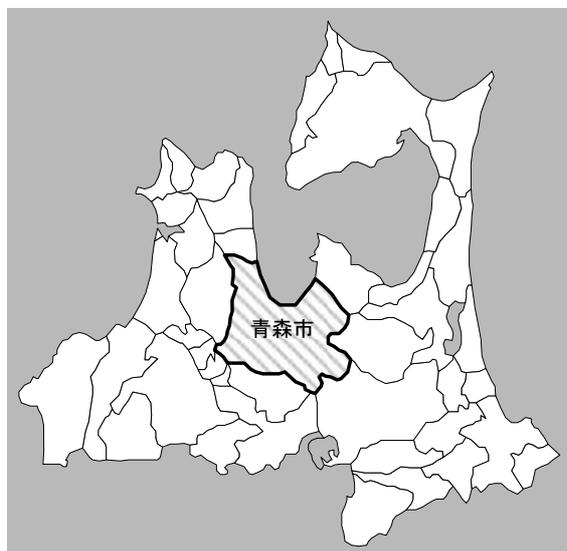
I 市 勢

1 位置及び面積

平成 17 年 4 月 1 日、旧青森市と旧浪岡町が合併し、当時としては青森県初の人口 30 万人都市「青森市」が誕生しました。

青森市は、青森県のほぼ中央に位置し、824.61 km² に及ぶ広大な行政区域を有しており、北は陸奥湾に面し、東部と南部には奥羽山脈の一部をなす東岳山地から八甲田連峰に、西部は広大な津軽平野から津軽山地へと連なるなど、雄大な自然環境に恵まれています。気候は、夏が短く冬が長い冷涼型の気候に属し、特に冬は、積雪量が非常に多く、全域が国の特別豪雪地帯に指定されています。

また、青森県の交通・行政・文化の中心都市として都心部を中心に高度な都市機能が集積し、交通の結節点として高い拠点機能を有しています。これらの市街地の後背地には、食料供給の農地が広がり、とりわけ浪岡地域は全国トップクラスの生産量を誇るリンゴの一大生産地域として、悠然とした田園風景・環境が広がっています。さらに、三内丸山遺跡・小牧野遺跡・浪岡城跡・高屋敷館遺跡といった貴重な史跡や、世界の火祭り「青森ねぶた祭」、日本一おいしいとお墨つきをいただいた「水道水」など、ここにしかない豊かな宝物を有しているまちでもあります。



位 置		合計面積
東経	北緯	824.61 km ²
140° 45'	40° 49'	

平成 27 年 10 月 1 日現在（資料：国土交通省）

都市計画区域等（平成 28 年 4 月 1 日）

市街化区域	市街化調整区域	都市計画区域		準都市計画区域
		(青森地区)	(浪岡地区)	
50.11km ²	187.62km ²	237.73km ²	*77.44km ²	0.83km ²

※青森市行政区域内の面積

(資料：都市政策課)

2 人口と世帯

区分	人口（人）			世帯数 （世帯）
	総数	男	女	
平成 22 年国勢調査	299,520	139,084	160,436	119,413
平成 28 年 4 月 1 日現在 （住民基本台帳）	290,721	135,305	155,416	136,191

3 市制施行

平成 17 年 4 月 1 日

4 都市形態

商業流通都市

5 職員数（平成 28 年 4 月 1 日現在）

区 分	市 長 事務部局	企 業 局	議 会 事 務 局	教育委員会 事 務 局	選挙管理委員会 事 務 局
現員数（人）	1,897	283	16	272	7
監査委員 事 務 局	農業委員会 事 務 局	青森地域広域 事 務 組 合	合 計		
8	12	426	2,921		

※教育長を含む。

○市職員 1 人当たりの市民数（H28. 4. 1 現在の住民基本台帳人口による） 99.53 人

6 友好交流都市

- ・北海道函館市
平成元年 3 月 13 日「青森市・函館市ツインシティ提携に関する盟約」を締結。
- ・ハンガリー・ケチケメート市
平成 6 年 8 月 4 日「教育・文化の友好交流に関する協定」を締結。
- ・大韓民国^{ピョンテク}・平澤市
平成 7 年 8 月 28 日「教育・文化等の友好交流に関する協定」を締結。
- ・中華人民共和国・大連市
平成 16 年 12 月 24 日「青森市・大連市経済文化交流委員会設置に関する協定」を締結。
- ・鹿児島県屋久島町
平成 12 年 8 月 5 日、合併前の旧浪岡町と旧上屋久町間で「友好盟約」を締結。
平成 22 年 1 月 8 日、青森市と屋久島町間で「友好盟約」を再締結。
- ・東京都中野区
平成 26 年 4 月 9 日「交流連携協定」を締結。
- ・台湾新竹県
平成 26 年 10 月 17 日「友好交流に関する協定」を締結

7 市の木・花・鳥・昆虫（平成17年4月27日指定）

市の木…あおもりとどまつ



アオモリの名が木の名前として採用されているのは大変珍しく、市を象徴するのにふさわしい、四季を通じて美しい常緑樹です。

市の花…はまなすの花



多くの歌や詩に詠われるなど、花が大変美しく、可憐で匂いもよく、赤い実がさらに美しさを醸し出しています。

市の鳥…ふくろう



世界諸国で幸せを呼ぶ鳥（ラッキーバード）として親しまれていますが、浪岡地区のりんご園を中心に生息し、大切に守られている貴重な鳥です。

市の昆虫…ホタル



豊かな自然の象徴であり、昔から人々に親しまれていますが、細越地区や吉野田地区などに生息し、大切に守られている貴重な昆虫です。

（写真及び記事：青森市ホームページ）

8 名誉市民

棟方 志功（むなかた しこう）氏 1903年～1975年（昭和44年2月17日推戴）



早くから画業に研さんを重ね、わが国版画界における最高峰であるのみならず、世界のムナカタとして郷土青森の名を高めました。昭和45年、県人初の文化勲章を受章。

横山 實（よこやまみのる）氏 1903年～1974年（昭和48年7月13日推戴）



戦災で荒廃した青森市の復興に貢献し、4期16年（昭和22年～38年）にわたって市政を担当、現在の本市の基礎をつくりあげました。

石館 守三（いしだて もりぞう）氏 1901年～1996年（昭和63年5月15日推戴）



東京大学薬学部長などを歴任。強心剤「ビタカンファー注射液」や、がんの化学療法剤「ナイトロミン」を創製しました。また、ハンセン病の治療薬「プロミン」の国内初の合成にも成功し、さらに、国に「らい予防法」の廃止を呼びかける（1996年廃止）など、ハンセン病に苦しむ人々に明るい希望を与えました。

淡谷 のり（あわや のり）氏 1907年～1999年（平成10年6月22日推戴）



「ブルースの女王・淡谷のり子」として日本の歌謡史上に確固たる地位を築き、激動の昭和時代、国民に歌の感動のみならず勇気と希望を与えてくれました。昭和47年に紫綬褒章、昭和57年勲四等宝冠章を受章。

三浦 雄一郎（みうら ゆういちろう）氏 1932年～（平成20年11月3日推戴）



世界七大陸最高峰のスキー滑降を完全達成し、七十歳代で二度、世界最高峰エベレスト登頂に成功するなど、冒険家・プロスキーヤーとして国内外で高く評価されています。また、クラーク記念国際高等学校の校長として、青少年の可能性を育む教育活動にも尽力しています。

平成25年5月23日には、史上最高齢80歳にして3度目のエベレスト（8,848m）登頂に成功し、日本のみならず、世界中を感動させました。

市では、この多大なる功績をたたえ、平成25年7月27日、三浦雄一郎氏に対し「青森市名誉市民特別功労賞を贈りました。

（写真及び記事：青森市ホームページ）

Ⅱ 市民憲章・都市宣言

青森市民憲章（平成17年4月27日制定）

わたくしたちは、青い空、青い海、青い森にいだかれ、悠久の歴史と香り高い文化と伝統に満ちた青森市の市民です。

わたくしたちは、郷土あおもりを心から愛し、夢と希望にあふれたしあわせなまちとするためこの憲章を定めます。

- 1 自然をたいせつにし 美しいまちにしましょう
- 1 元気に働き 活気のある豊かなまちにしましょう
- 1 たがいに助け合い あたたかいまちにしましょう
- 1 笑顔でふれあい 明るく平和なまちにしましょう
- 1 楽しく学び いきがいを感じるまちにしましょう

「男女共同参画都市」青森宣言(平成8年10月22日)

私は私を大切に思うのと同じ重さで
あなたを大切に思う

性別を超え

世代を超え

時代を超え

人と協調し 人を信頼できる

誇り高い人間でありたい

すべての人の自立と平等をめざして
青森は ここに「男女共同参画都市」を宣言します

Ⅲ 財政状況

1 平成28年度当初予算総括表

(単位：千円、%)

	平成28年度		平成27年度		増減率	
	予算額	構成比	予算額	構成比		
一 般 会 計	117,738,384 (118,419,584)	49.5	119,037,000 (119,912,000)	50.2	△ 1.1 (△1.2)	
特別会計	競 輪 事 業	13,957,957	5.9	13,884,913	5.9	0.5
	国民健康保険事業	36,259,167	15.2	35,927,279	15.1	0.9
	宅 地 造 成 事 業	1,115,284	0.5	1,000,280	0.4	11.5
	下 水 道 事 業	10,791,177	4.5	10,335,734	4.4	4.4
	卸 売 市 場 事 業	805,051	0.3	798,674	0.3	0.8
	農 業 集 落 排 水 事 業	357,737	0.2	358,863	0.1	△ 0.3
	介 護 保 険 事 業	27,190,504	11.4	26,162,292	11.0	3.9
	母子父子寡婦福祉資金貸付金	261,797	0.1	163,391	0.1	60.2
	後 期 高 齢 者 医 療	2,884,292	1.2	2,923,802	1.2	△ 1.4
	駐 車 場 事 業	366,314	0.2	368,566	0.2	△ 0.6
小 計	93,989,280	39.5	91,923,794	38.7	2.2	
企業会計	病 院 事 業	13,468,800	5.7	13,550,247	5.7	△ 0.6
	水 道 事 業	9,638,405	4.0	9,582,924	4.0	0.6
	自 動 車 運 送 事 業	3,049,461	1.3	3,160,479	1.4	△ 3.5
小 計	26,156,666	11.0	26,293,650	11.1	△ 0.5	
計	237,884,330 (238,565,530)	100.0	237,254,444 (238,129,444)	100.0	0.3 (0.2)	

※ () は、公債費負担平準化のための借りかえ分を含む (H28:681,200千円、H27:875,000千円)。

2 一般会計歳入

(単位：千円、%)

款	平成28年度		平成27年度		増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比	
市 方 譲 与 税	33,876,178	28.8	33,731,033	28.3	0.4
地 方 譲 与 税	828,095	0.7	769,653	0.7	7.6
利 子 割 交 付 金	50,141	0.0	63,124	0.1	△ 20.6
配 当 割 交 付 金	156,300	0.1	82,375	0.1	89.7
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	69,757	0.1	23,209	0.0	200.6
地 方 消 費 税 交 付 金	5,396,011	4.6	4,962,117	4.2	8.7
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	22,405	0.0	23,206	0.0	△ 3.5
自 動 車 取 得 税 交 付 金	121,157	0.1	114,095	0.1	6.2
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 助 成 交 付 金	3,823	0.0	4,062	0.0	△ 5.9
地 方 特 例 交 付 金	121,175	0.1	115,463	0.1	4.9
地 方 交 付 税	25,786,464	21.9	28,115,093	23.6	△ 8.3
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	43,613	0.0	48,249	0.0	△ 9.6
分 担 金 及 び 負 担 金	1,390,231	1.2	1,404,440	1.2	△ 1.0
使 用 料 及 び 手 数 料	1,801,325	1.5	1,820,872	1.5	△ 1.1
国 庫 支 出 金	25,295,061	21.5	25,116,325	21.1	0.7
県 支 出 金	7,522,742	6.4	6,722,534	5.7	11.9
財 産 収 入 金	337,230	0.3	384,993	0.3	△ 12.4
寄 附 入 金	1	0.0	1	0.0	0.0
繰 上 入 金	4,708,487	4.0	3,100,495	2.6	51.9
繰 上 越 金	1	0.0	1	0.0	0.0
諸 収 入	2,642,186	2.3	3,020,121	2.5	△ 12.5
市 債	7,566,001	6.4	9,415,539	7.9	△ 19.6
	(8,247,201)	(7.0)	(10,290,539)	(8.6)	(△19.9)
歳 入 合 計	117,738,384 (118,419,584)	100.0	119,037,000 (119,912,000)	100.0	△ 1.1 (△1.2)

※ () は、公債費負担平準化のための借りかえ分を含む (H28:681,200千円、H27:875,000千円)。

3 一般会計歳出（目的別）

（単位：千円、％）

款	平成28年度		平成27年度		増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比	
議 会 費	663,231	0.6	715,365	0.6	△ 7.3
総 務 費	8,453,712	7.2	9,515,095	8.0	△ 11.2
民 生 費	53,930,054	45.8	52,415,633	44.0	2.9
衛 生 費	6,550,007	5.6	6,714,541	5.6	△ 2.5
労 働 費	46,239	0.0	137,858	0.1	△ 66.5
農 林 水 産 業 費	1,802,636	1.5	1,837,891	1.6	△ 1.9
商 工 費	2,365,777	2.0	2,295,328	1.9	3.1
土 木 費	11,950,496	10.2	12,457,341	10.5	△ 4.1
消 防 費	3,881,090	3.3	3,722,877	3.1	4.2
教 育 費	9,775,395	8.3	10,891,829	9.2	△ 10.3
災 害 復 旧 費	1	0.0	1	0.0	0.0
公 債 費	17,357,230	14.7	17,268,604	14.5	0.5
	(18,038,430)	(15.2)	(18,143,604)	(15.1)	(△0.6)
諸 支 出 金	862,516	0.7	964,637	0.8	△ 10.6
予 備 費	100,000	0.1	100,000	0.1	0.0
歳 出 合 計	117,738,384	100.0	119,037,000	100.0	△ 1.1
	(118,419,584)		(119,912,000)		(△1.2)

※（ ）は、公債費負担平準化のための借りかえ分を含む（H28:681,200千円、H27:875,000千円）。

4 一般会計歳出（性質別）

（単位：千円、％）

区分	平成28年度		平成27年度		増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比	
消 費 的 経 費	110,274,142	93.7	110,298,338	92.7	0.0
人 件 費	12,454,217	10.6	13,059,401	11.0	△ 4.6
扶 助 費	39,830,669	33.8	39,005,898	32.8	2.1
公 債 費	17,357,230	14.7	17,268,604	14.5	0.5
義 務 的 経 費 計	69,642,116	59.1	69,333,903	58.3	0.4
物 件 費	13,529,625	11.5	14,062,876	11.8	△ 3.8
維 持 補 修 費	3,294,760	2.8	3,284,131	2.7	0.3
補 助 費 等	10,319,173	8.8	10,619,015	8.9	△ 2.8
繰 出 金	12,792,320	10.9	12,223,424	10.3	4.7
積 立 金	25,935	0.0	67,307	0.1	△ 61.5
投 資 及 び 出 資 金	500	0.0	870	0.0	△ 42.5
貸 付 金	569,713	0.5	606,812	0.5	△ 6.1
そ の 他	100,000	0.1	100,000	0.1	0.0
投 資 的 経 費	7,464,242	6.3	8,738,662	7.3	△ 14.6
普 通 建 設 事 業 費	7,464,241	6.3	8,738,661	7.3	△ 14.6
補 助 事 業 費	4,970,580	4.2	5,277,564	4.4	△ 5.8
単 独 事 業 費	2,052,659	1.7	2,943,307	2.5	△ 30.3
国 直 轄 事 業 負 担 金	0	0.0	0	0.0	-
県 営 事 業 負 担 金	441,002	0.4	517,790	0.4	△ 14.8
災 害 復 旧 費	1	0.0	1	0.0	0.0
歳 出 合 計	117,738,384	100.0	119,037,000	100.0	△ 1.1

5 財政力指数（平成26年度決算状況による） : 0.53

6 実質公債費比率（平成26年度決算状況による） : 13.8

議会の概要

I	議会の構成	9
II	本会議の運営	13
III	委員会等の運営等	23
IV	請願・陳情	37
V	報酬・旅費等	42
VI	議会の広報	49
VII	議会図書室	52
VIII	議会事務局	53
IX	議事堂の概要	55

I 議会の構成(平成 28 年4月1日現在)

1 議員名簿

議長 大 矢 保 (平成 26 年 11 月 26 日就任)

副議長 竹 山 美 虎 (平成 26 年 11 月 26 日就任)

任 期 : 平成 26 年 11 月 26 日～平成 30 年 11 月 25 日

議員定数 : 条例定数 35 名・現員数 35 名

議席 番号	氏 名	住 所	電 話	年 齢	会 派 名	当選 回数
1	山 脇 智	勝田二丁目 7-3	017-734-2330	34	日本共産党	2
2	橋 本 尚 美	桜川八丁目 17-44	017-741-9019	54	無 所 属	2
3	奈 良 祥 孝	岡造道三丁目 4-33	017-741-6333	55	市民クラブ	7
4	竹 山 美 虎	桜川四丁目 16-6	017-752-1614	55	市民クラブ	2
5	中 田 靖 人	原別一丁目 2-38	017-736-3651	44	自民清風会	3
6	館 山 善 也	古川二丁目 3-17	017-777-5623	48	自民清風会	2
7	軽 米 智雅子	西大野二丁目 3-13	017-753-2121	54	公 明 党	1
8	中 村 美津緒	新城字山田 601-4	017-787-1162	42	新政無所属の会	1
9	奈良岡 隆	桜川二丁目 4-5	017-742-0302	65	新政無所属の会	3
10	葛 西 育 弘	堤町一丁目 5-10 2号	017-777-8447	50	日本共産党	2
11	天 内 慎 也	浪岡大字長沼字北藤巻 36-13	0172-62-4335	42	日本共産党	2
12	藤 田 誠	沖館一丁目 8-31	017-782-5043	62	社 民 党	2
13	工 藤 健	矢田前字本泉 23-59	017-726-5770	59	市民クラブ	2
14	木 戸 喜美男	新城字福田 7-1	017-788-3426	63	自民清風会	2
15	里 村 誠 悦	幸畑一丁目 8-3	017-728-3894	67	自民清風会	4
16	山 本 武 朝	筒井字八ツ橋 205-21	017-738-5221	57	公 明 党	2
17	中 村 節 雄	赤坂一丁目 28-24	017-742-3560	56	新政無所属の会	3
18	小 倉 尚 裕	浪岡大字浪岡字稲村 19-9	0172-62-2059	58	新政無所属の会	6
19	館 田 瑠美子	油川字中道 36-45	017-787-2457	68	日本共産党	4
20	村 川 みどり	浪館前田四丁目 21-3	017-781-6809	43	日本共産党	3
21	斎 藤 憲 雄	富田一丁目 30-27	017-782-7514	64	社 民 党	5
22	木 下 靖	桂木三丁目 15-22	017-776-2513	55	市民クラブ	4
23	小豆畑 緑	新城字山田 665-42	017-788-5813	70	自民清風会	4
24	長谷川 章 悦	浪岡大字北中野字天王 101-2	0172-62-2306	67	自民清風会	7

議席 番号	氏 名	住 所	電 話	年 齢	会 派 名	当選 回数
25	渡 部 伸 広	羽白字沢田 654-20	017-787-0439	48	公 明 党	3
26	丸 野 達 夫	三内字沢部 275-12	017-783-2658	49	新政無所属の会	4
27	藤 原 浩 平	原別四丁目 2-29	017-736-6562	69	日 本 共 産 党	7
28	仲 谷 良 子	筒井字八ツ橋 191-15	017-738-3900	75	社 民 党	6
29	秋 村 光 男	千刈一丁目 22-1	017-766-1588	68	市 民 ク ラ ブ	4
30	花 田 明 仁	自由ヶ丘一丁目 9-13	017-741-3336	63	自 民 清 風 会	5
31	渋 谷 勲	八ツ役字芦谷 319-7	017-739-7906	65	自 民 清 風 会	7
32	大 矢 保	野沢字川部 24	017-739-3299	65	自 民 清 風 会	6
33	赤 木 長 義	小柳六丁目 9-12	017-742-0891	54	公 明 党	4
34	小田桐 金 三	小柳三丁目 15-2	017-741-8810	81	新政無所属の会	10
35	奥 谷 進	奥内字宮田 8-1	017-754-2031	81	新政無所属の会	7

※当選回数は、旧市町議会での当選回数を含む。

2 党派・会派別一覧表（平成28年4月1日現在）

（単位：人）

党派 会派	自由 民主党	日本 共産党	公明党	社会 民主党	民進党	無所属	合計
自民清風会	7					2	9
新政無所属の会	2					5	7
日本共産党		6					6
市民クラブ					1	4	5
公明党			4				4
社民党				3			3
無所属						1	1
合計	9	6	4	3	1	12	35

3 当選回数別議員数（平成28年4月1日現在）

（単位：人）

当選回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	10回	合計
議員数	2	10	5	7	2	3	5	1	35

※当選回数は、旧市町議会での当選回数を含む。

4 年齢階層別議員数（平成28年4月1日現在）

（単位：人）

年齢階層	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
議員数	1	7	11	12	2	2	35

5 会派一覧（平成28年4月1日現在）

自民清風会（9人） ダイヤル734-5699 （内）6024・6025・6026		市民クラブ（5人） ダイヤル734-5698 （内）6013・6021・6022	
顧問	大矢保	会長	木下靖
顧問	長谷川章悦	幹事長	工藤健
会長	渋谷勲		秋村光男
副会長	小豆畑緑		奈良祥孝
会長代行	里村誠悦		竹山美虎
幹事長	花田明仁	公明党（4人）	
副幹事長	中田靖人	ダイヤル734-5697	
副幹事長	木戸喜美男	（内）6019・6020	
副幹事長	舘山善也	幹事長	赤木長義
新政無所属の会（7人） ダイヤル734-5694 （内）6014・6015・6016		副幹事長	渡部伸広
		会計	山本武朝
		書記	軽米智雅子
顧問	小田桐金三	社民党（3人）	
顧問	丸野達夫	ダイヤル734-5692	
会長	奥谷進	（内）6009・6010・6011	
幹事長	小倉尚裕	団長	斎藤憲雄
事務局長	中村節雄	副団長	仲谷良子
事務局次長	奈良岡隆	幹事長	藤田誠
会計	中村美津緒	無所属（1人）	
日本共産党（6人） ダイヤル734-5696 （内）6012・6017・6018		ダイヤル734-5857	
		（内）6032	
		橋本尚美	
団長	藤原浩平		
副団長	舘田瑠美子		
幹事長	村川みどり		
	葛西育弘		
	天内慎也		
	山脇智		

Ⅱ 本 会 議 の 運 営

1 定例会及び臨時会

定例会は、年4回と定められており、開会の月は、慣例として、おおむね3月（当初予算等）、6月（補正予算等）、9月（補正予算、各会計決算等）、12月（補正予算等）としている。

会期は、毎会期の初めに議会の議決で定める。

臨時会は、必要に応じて開かれる。

(1) 議事日程

議長は、開議の日時、会議に付する事件及びその審議順序等を記載した議事日程をあらかじめ議会運営委員会に諮って決定する。なお、議事日程は会議の当日議場に配付する。

(2) 会議時間

午前10時から午後5時までと定めている。

(3) 休 会

市の休日は休会とし、議事の都合その他必要があるときは議会の議決で休会とすることができる。

(4) 議案の配付時期

議案は、招集告示日に各議員控室の自席に配付する。なお、議案配付前に、議会運営委員会において、市当局から提出議案の内容説明を受ける。

(5) 議員提出議案

議員が議案を提出しようとするときは、その案に理由をつけ、地方自治法第112条第2項の規定によるもの（団体意思の決定である条例案等）については、提出者と賛成者が議員定数の12分の1以上（3人以上）、その他のもの（機関意思の決定である決議案、意見書案）については、3人以上の賛成者が連署して議長に提出しなければならない。

議員提出議案は、原則として開会日から受け付けし、翌日の午後5時に締め切るものとする。

(6) 人事案の取り扱い

あらかじめ各派代表者会議及び議会運営委員会に氏名、経歴等を報告し、最終日の本会議でこれを議決する。

(7) 質問・質疑の通告及び発言

会議において発言をしようとするものは、あらかじめ発言通告書を議長に提出する。ただし、議事の進行及び一身上の弁明等については、この限りではない。

なお、緊急質問については、あらかじめ議会運営委員会の了承を得た上、議会の同意を得て行う。

(8) 議場出席説明員

議長名により、あらかじめ関係当局の説明員の出席を求めている。(地方自治法第121条) なお、原則として部長級以上が出席する。

(9) 予算及び決算に係る議案の審査方法

予算に係る審査については、各定例会において、その都度25人(3月、6月、12月)ないしは20人(9月)の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査する。また、決算に係る審査については、20人(9月)の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査する。なお、委員の人数は、原則として各会派の所属議員数の比例按分による。

(10) 全員協議会

市政に関して自主的な調査・研究を行い、議会の円滑かつ合理的な運営を図るため、また、理事者からの依頼により、市政に関する重要な事項などを協議するため必要に応じて開催され、全議員が構成員となる。

2 定例会の審議順序例（参考：平成28年第1回定例会）

日 程	会議区分	会 議 内 容	備 考
第 1 日	本 会 議	◎開会 ◎会議録署名議員の指名 ◎会期の決定 ◎議案一括上程 ◎提案理由説明・質疑・討論・採決 ◎議案一括上程 ◎提案理由説明	会議録署名議員は会期を通じて2名を指名する。 ※平成28年第1回定例会においては先議あり。
第 2～6 日	休 会 (議案熟考のため)		※第2日 請願・議員提出議案提出 締切(開会日翌日午後5時)
第 7～10 日	本 会 議	◎一般質問	※第7日 議員派遣(行政視察申込書)1回目提出締切(正午) ※第8日 追加議案があれば上程し、総括質疑の対象とする 総括質疑通告締切(一般質問2日目正午)
第11～12日	休 会		
第 13 日	本 会 議	◎一般質問	
第 14 日	本 会 議	◎提出議案に対する総括質疑 ◎予算特別委員会設置及び委員の選任 ◎議案・請願所管委員会付託	※第3回定例会においては、決算特別委員会の設置及び委員の選任が加わる
	委 員 会	・予算特別委員会組織会 ・各常任委員会付託事件審査 総務企画常任委員会 文教経済常任委員会 都市建設常任委員会 民生環境常任委員会	※第3回定例会においては、決算特別委員会組織会が加わる
第 15 日	休 会 (議案審査(委員会)等のため)		
第 16 日		・予算特別委員会付託事件審査	
第17～19日			
第 20 日		・予算特別委員会付託事件審査	
第 21 日		・予算特別委員会付託事件審査	※議員派遣2回目提出締切(予算特別委員会最終日午後5時) ※閉会日の質疑・討論提出締切(予算特別委員会最終日午後5時)
第22～28日			
第 29 日		本 会 議	◎各委員長報告に対する質疑・討論・採決 ◎閉会

「◎」は本会議、「・」は委員会

※予算特別委員会の開催日数は、第1回定例会においては3日、第2回、第3回及び第4回定例会において2日開催する。また、決算特別委員会は、第3回定例会において予算特別委員会開催前に2日開催する。(平成19年より)

3 一般質問

(1) 質問通告書の提出時期

告示日から受け付けし、開会日の2日前の正午を締め切りとする。ただし、当日が市の休日の場合は、その前日の正午までとする。

(2) 通告内容の記載方法

発言通告書は、質問事項を具体的に記入する。

(3) 発言順位

議会運営委員会において、抽選により決定する。

(4) 通告内容の調整

内容が重複するもの及び是正する必要があると認められるものについては、あらかじめ議会運営委員会において調整を図る。

(5) 発言内容の制限

通告外の質問は許可しない。

(6) 質問の形態

一問一答方式または一括方式の選択制とする。

① 一問一答方式（質問回数 制限なし）

- ・ 1回目の質問 … 一括質問（議員登壇）、一括答弁（理事者登壇）
- ・ 2回目以降の質問 … 一問一答（議員、理事者ともに自席）

② 一括方式（質問回数 制限なし）

- ・ 1回目の質問 … 一括質問（議員登壇）、一括答弁（理事者登壇）
- ・ 2回目以降の質問 … 一括質問、一括答弁（議員、理事者ともに自席）

(7) 発言時間

発言時間は質問と理事者の答弁までを含め、1人60分以内とする。

(8) 一般質問の日数

原則として4日間とする。ただし、一般質問者数が多い場合は、5日間をもって消化する。

4 総括質疑

(1) 質疑通告書の提出時期

開会日から受け付けし、一般質問2日目の正午を締め切りとする。

(2) 通告内容の記載方法

項目別にできるだけ具体的に記入し、特に予算議案、決算議案にあつては款・項を明記する。

(3) 発言順位

議会運営委員会において抽選により決定する。

(4) 通告内容の調整

内容が重複するもの及び是正する必要があると認められるものについては、あらかじめ議会運営委員会において調整を図る。

(5) 発言内容の制限

通告外の質疑は許可しない。

(6) 質疑の形態及び発言回数

議員、理事者ともに自席で行う。発言回数は3回まで。

(7) 発言時間

制限していない。

(8) 総括質疑の日数

1日間で実施している。

(9) 質疑の制限

所管委員会（予算及び決算特別委員会を含む）の委員は、所管にかかわる議案についての総括質疑を遠慮する。

5 本会議の傍聴

(1) 傍聴券（傍聴証）の交付

一般の傍聴者に対しては、会議当日のみ傍聴できる傍聴券を先着順で交付し、住所、氏名、年齢を記入していただいている。

また、報道関係者及び市職員で議長が特に必要と認めた者には、会期を通じて傍聴できる傍聴証を交付している。（基本的に市政記者に交付している。）

(2) 傍聴席

一般席と報道関係者席に分かれており、一般席 87 席、報道関係者席 14 席を設けている。

本会議傍聴者数

定例会 臨時会の別	会 期		本会議 (日)	傍聴者数 (人)
	(月・日)	日数		
平成 27 年 第 2 回定例会	5.28～6.23	27 日	8 日	100 人
平成 27 年 第 3 回定例会	8.26～9.25	31 日	8 日	55 人
平成 27 年 第 4 回定例会	11.26～12.22	27 日	8 日	48 人
平成 28 年 第 1 回定例会	2.24～3.23	29 日	8 日	67 人
合 計			32 日	270 人

6 本会議開催状況（定例会・臨時会別内訳）

定例会 臨時会の別	会 期		本会議 (日)	実質会議時間 (時間：分)	会議時間 (時間：分)
	(月・日)	日 数			
平成 27 年 第 2 回定例会	5.28～6.23	27 日	8 日	26：22	40：55
平成 27 年 第 3 回定例会	8.26～9.25	31 日	8 日	30：03	40：56
平成 27 年 第 4 回定例会	11.26～12.22	27 日	8 日	27：10	36：42
平成 28 年 第 1 回定例会	2.24～3.23	29 日	8 日	33：19	44：55
合 計		114 日	32 日	116：54	163：28

7 議決結果一覧表

(単位:件)

		平成27年			平成28年	合 計		
		第2回 定例会	第3回 定例会	第4回 定例会	第1回 定例会			
市長提出議案	総 数	20	35	64	111	230		
	内 訳	条 例	5	10	7	22	44	
		予 算	5	13	13	77	108	
		決 算	0	4	0	0	4	
		専決処分	条 例	1	0	0	0	1
			予 算	1	0	0	1	2
			その他	0	0	0	0	0
		その他	人 事	2	3	2	4	11
			その他	6	5	42	7	60
	議決結果	原案可決	16	27	62	102	207	
		修正可決	0	1	0	3	4	
		否 決	0	0	0	1	1	
		認 定	0	3	0	0	3	
		承 認	2	0	0	1	3	
		同 意	2	3	2	4	11	
原案可決 及び認定		0	1	0	0	1		
継続審査		0	0	0	0	0		
諮 問	総 数	3	4	4	12	23		
	議決結果 (申)	認 容	0	0	0	0	0	
		棄 却	2	4	4	12	22	
		却 下	1	0	0	0	1	
議員提出議案	総 数	11	7	14	10	42		
	内 訳	意 見 書	8	6	14	7	35	
		決 議	1	1	0	2	4	
		条 例	1	0	0	0	1	
		そ の 他	1	0	0	1	2	
	議決結果	原案可決	7	3	6	9	25	
		否 決	4	4	8	1	17	
審議未了		0	0	0	0	0		

8 議決事件内容別件数の推移

(単位：件数)

		平成 27 年			平成 28 年
		第 2 回 定例会	第 3 回 定例会	第 4 回 定例会	第 1 回 定例会
市 長 提 案	条例の新規制定	0	4	2	7
	条例の改正	6	4	5	13
	条例の廃止	0	2	0	2
	予算・決算	6	17	13	78
	人 事	2	3	2	4
	工事請負契約の 締 結	4	2	2	0
	包括外部監査 契約の締結	0	0	0	1
	市道路線の 廃止・認定	0	0	2	0
	指定管理者の 指 定	1	0	37	0
	そ の 他	1	3	1	6
	合 計	20	35	64	111
(うち専決処分)	2	0	0	1	
議 員 提 出	意 見 書	8	6	14	7
	決 議	1	1	0	2
	そ の 他	2	0	0	1
	合 計	11	7	14	10

※市長提案にある「その他」には、地方自治法第 96 条第 1 項第 4 号及び第 6 号から第 14 号に定める事項を、議員提出の「その他」には、意見書、決議に含まれない事件（会議規則、委員会条例等）をまとめている。

9 議員提出議案等一覧表

提出時期	議案番号	件名	議決年月日	結果	意見書等提出先
H27第2回 (定例会)	8	青森市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	H27.6.23	原案可決	*****
H27第2回 (定例会)	9	青森市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	H27.6.23	原案可決	*****
H27第2回 (定例会)	10	労働基準法及び労働者派遣法の改正に反対する意見書	H27.6.23	否決	内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長
H27第2回 (定例会)	11	T P P交渉に関する意見書	H27.6.23	否決	内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）
H27第2回 (定例会)	12	米価暴落対策を求める意見書	H27.6.23	否決	内閣総理大臣、農林水産大臣
H27第2回 (定例会)	13	「戦争法」制定に反対する意見書	H27.6.23	否決	内閣総理大臣、外務大臣 防衛大臣、内閣官房長官、衆議院議長、参議院議長
H27第2回 (定例会)	14	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書	H27.6.23	原案可決	内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長
H27第2回 (定例会)	15	地方単独事業に係る国民健康保険の減額措置の見直しを求める意見書	H27.6.23	原案可決	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣
H27第2回 (定例会)	16	認知症への取り組みの充実強化に関する意見書	H27.6.23	原案可決	内閣総理大臣、厚生労働大臣
H27第2回 (定例会)	17	農林水産業の輸出促進に向けた施策の拡充を求める意見書	H27.6.23	原案可決	内閣総理大臣、農林水産大臣
H27第2回 (定例会)	18	青森駅周辺整備推進事業の速やかな実施を求める決議	H27.6.23	原案可決	*****
H27第2回 (定例会)	18 修正案	議員提出議案第18号「青森駅周辺整備推進事業の速やかな実施を求める決議」修正案	H27.6.23	否決	*****
H27第3回 (定例会)	19	T P P交渉に関する意見書	H27.9.25	否決	内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）
H27第3回 (定例会)	20	政府による米価対策を求める意見書	H27.9.25	否決	内閣総理大臣、農林水産大臣
H27第3回 (定例会)	21	治安維持法犠牲者への国家賠償を求める意見書	H27.9.25	否決	内閣総理大臣、法務大臣
H27第3回 (定例会)	22	地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書	H27.9.25	原案可決	内閣総理大臣、財務大臣、財務大臣、地方創生担当大臣
H27第3回 (定例会)	23	I C T活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書	H27.9.25	原案可決	内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、地方創生担当大臣
H27第3回 (定例会)	24	原発再稼働の中止を求める意見書	H27.9.25	否決	内閣総理大臣、経済産業大臣、環境大臣、内閣官房長官、衆議院議長、参議院議長
H27第3回 (定例会)	25	議案第137号「平成27年度青森市一般会計補正予算（第4号）」に対する附帯決議	H27.9.25	原案可決	*****
H27第4回 (定例会)	26	青森県乳幼児はつらつ育成事業（子ども医療費助成事業）の拡充を求める意見書	H27.12.21	原案可決	青森県知事
H27第4回 (定例会)	27	夜間中学の整備と拡充を求める意見書	H27.12.21	原案可決	内閣総理大臣、文部科学大臣
H27第4回 (定例会)	28	ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書	H27.12.21	原案可決	内閣総理大臣、厚生労働大臣
H27第4回 (定例会)	29	地方大学の機能強化を求める意見書	H27.12.21	原案可決	内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、地方創生担当大臣
H27第4回 (定例会)	30	子どもの医療費無料化と国民健康保険に係る国庫負担金減額のペナルティーをやめることを求める意見書	H27.12.21	否決	内閣総理大臣、厚生労働大臣
H27第4回 (定例会)	31	若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書	H27.12.21	否決	内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長
H27第4回 (定例会)	32	T P P交渉に関する意見書	H27.12.21	否決	内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）
H27第4回 (定例会)	33	所得税法第56条の廃止を求める意見書	H27.12.21	否決	内閣総理大臣、財務大臣
H27第4回 (定例会)	34	複数税率による軽減税率の導入実現を求める意見書	H27.12.21	原案可決	内閣総理大臣、財務大臣
H27第4回 (定例会)	35	マイナンバー制度の円滑な運営に係る財源確保等自治体の負担軽減を求める意見書	H27.12.21	原案可決	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣

提出時期	議案番号	件名	議決年月日	結果	意見書等提出先
H27第4回 (定例会)	36	沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求める意見書	H27.12.21	否決	内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、国土交通大臣、環境大臣、防衛大臣、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）、衆議院議長、参議院議長
H27第4回 (定例会)	37	戦争法の採決強行に抗議し同法の廃止を求める意見書	H27.12.21	否決	内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、内閣官房長官、衆議院議長、参議院議長
H27第4回 (定例会)	38	労働基準法改正案の撤回を求める意見書	H27.12.21	否決	内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長
H27第4回 (定例会)	39	地方自治体の臨時・非常勤職員の待遇改善と雇用安定のための法改正に関する意見書	H27.12.21	否決	総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、消費者庁長官
H28第1回 (定例会)	1	地方自治法第100条第12項の規定による協議又は調整を行うための場の設置について	H28.3.23	原案可決	*****
H28第1回 (定例会)	2	奨学金制度の充実等を求める意見書	H28.3.23	原案可決	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、内閣官房長官、衆議院議長、参議院議長
H28第1回 (定例会)	3	T P P協定の国会批准を行わないことを求める意見書	H28.3.23	否決	内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣
H28第1回 (定例会)	4	児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書	H28.3.23	原案可決	内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、国家公安委員会委員長
H28第1回 (定例会)	5	地方公会計の整備促進に係る意見書	H28.3.23	原案可決	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長
H28第1回 (定例会)	6	T P Pの影響に関する国民の不安の払拭及び対策の確実な実行を求める意見書	H28.3.23	原案可決	内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済再生担当大臣、地方創生担当大臣
H28第1回 (定例会)	7	軽減税率の円滑な導入に向けた事業者支援の強化を求める意見書	H28.3.23	原案可決	内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣
H28第1回 (定例会)	8	寡婦控除を未婚の母子世帯まで拡大することを求める意見書	H28.3.23	原案可決	内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長
H28第1回 (定例会)	9	議案第14号「平成28年度青森市一般会計予算」及び議案第66号「平成27年度青森市一般会計補正予算（第8号）」に対する附帯決議	H28.3.23	原案可決	*****
H28第1回 (定例会)	10	青森駅前再開発ビル「アウガ」に市役所庁舎機能を導入することを求める決議	H28.3.23	原案可決	*****

Ⅲ 委員会等の運営等

委員会は、常に設置されている常任委員会として4つの常任委員会と、必要に応じて設置される特別委員会として3つの特別委員会が設置されているほか、定例会の都度、会期中に予算・決算の議案を審査する予算特別委員会及び決算特別委員会が設置される。また、議会の運営が円滑に行われるよう議事の順序や進め方などを協議する議会運営委員会、議会内人事案件に関する事項等を所管する各派代表者会議及び議会改革に係る諸事項に関して協議する議会改革検討委員会が設置されている。

議案（人事案及び議員提出議案を除く）、請願等については所管の委員会に付託され、その審査結果を本会議において各委員長が報告している。

1 常任委員会及び常任委員協議会

(1) 定数及び任期

各常任委員会の定数は、総務企画常任委員会、文教経済常任委員会及び民生環境常任委員会が9名、都市建設常任委員会が8名で、任期は2年としており、常任委員協議会もこれに準ずる。

(2) 委員会の開催

議会の会期中に議案等の審査がある場合、また、閉会中の継続審査案件がある場合は、委員会を開催している。なお、報告事項や協議事項のみの場合は常任委員協議会を開催しており、議会運営委員会申し合わせにより、閉会中は原則として毎月21日に開催している。

(3) 所管事項及び名簿

平成28年4月1日現在

委員会名	所管事項	委員長	副委員長	委員
総務企画常任委員会 (定数9名)	市民政策部、総務部、財務部、消防、選挙管理委員会、監査委員、出納及び浪岡事務所（他の常任委員会の所管に属することを除く。）に関すること及び他の常任委員会の所管に属しないこと。	中村 節雄	館田 瑠美子	天 内 慎也
		山本 武朝	小倉 尚裕	齋藤 憲雄
		木下 靖	長谷川 章悦	渋谷 勲

委員会名	所管事項	委員
文教経済常任委員会 (定数9名)	市民生活部、経済部、農林水産部、教育委員会及び農業委員会に関すること。	委員長 工藤 善也 副委員長 山脇 智子 委員 山本 智雅子 〃 中村 美津緒 〃 木戸 喜美男 〃 丸野 達夫 〃 仲谷 良子 〃 秋村 光男
都市建設常任委員会 (定数8名)	都市整備部、企業局水道部及び企業局交通部に関すること。	委員長 中田 靖人 副委員長 奈良岡 隆美 委員 橋本 尚孝 〃 奈良 祥みどり 〃 村川 伸広 〃 渡部 明仁 〃 花田 保
民生環境常任委員会 (定数9名)	環境部、健康福祉部及び病院に関すること。	委員長 藤原 浩平 副委員長 赤木 長義 委員 竹山 美虎 〃 葛西 弘誠 〃 藤田 悦 〃 里村 誠悦 〃 小豆畑 緑 〃 小田桐 金三 〃 奥谷 三進

(4)開催概要

開催内容		委員会名				備 考
		総務企画常任委員会	文教経済常任委員会	都市建設常任委員会	民生環境常任委員会	
平成27年 4月	開 催 月 日	4月21日	4月21日	4月21日	4月21日	
	会 議 時 間 (分)	10:00 ~ 11:14	10:00 ~ 11:44	9:59 ~ 11:12	9:58 ~ 11:05	
	会 議 種 別	1:14 協議会	1:44 協議会	1:13 協議会	1:07 協議会	
	出席委員/0内は傍聴者数	9人中9人 (1人)	9人中9人 (1人)	8人中8人 (1人)	9人中8人 (1人)	
5月	開 催 月 日	5月20日	5月20日	5月20日	5月20日	
	会 議 時 間 (分)	10:00 ~ 12:01	10:00 ~ 12:05	10:00 ~ 10:47	9:59 ~ 11:46	
	会 議 種 別	2:01 協議会	2:05 協議会	0:47 協議会	1:47 協議会	
	出席委員/0内は傍聴者数	9人中9人 (0人)	9人中9人 (0人)	8人中8人 (0人)	9人中9人 (0人)	
6月	開 催 月 日	6月10日	6月10日	6月10日	6月10日	6月10日開催の総務企画常任委員会の休憩時間は11:57~13:00
	会 議 時 間 (分)	10:59 ~ 14:13	11:00 ~ 12:08	10:58 ~ 12:06	10:58 ~ 11:55	
	会 議 種 別	3:14 委員会	1:08 委員会	1:08 委員会	0:57 委員会	
	出席委員/0内は傍聴者数	9人中9人 (1人)	9人中9人 (3人)	8人中8人 (1人)	9人中9人 (1人)	6月17日開催の民生環境常任委員会は諮問に対する答申書の確認
	開 催 月 日				6月17日	
	会 議 時 間 (分)				12:59 ~ 13:05	
7月	開 催 月 日		7月6日			
	会 議 時 間 (分)		15:30 ~ 16:13			
	会 議 種 別		0:43 協議会			
	出席委員/0内は傍聴者数		9人中8人 (0人)			
	開 催 月 日	7月21日	7月21日	7月21日	7月21日	
	会 議 時 間 (分)	10:00 ~ 10:42	9:59 ~ 11:49	10:00 ~ 11:08	9:58 ~ 10:15	
出席委員/0内は傍聴者数	9人中9人 (1人)	9人中9人 (1人)	8人中8人 (1人)	9人中9人 (1人)		
8月	開 催 月 日	8月18日	8月18日	8月18日	8月18日	
	会 議 時 間 (分)	9:59 ~ 12:17	9:59 ~ 12:52	10:00 ~ 11:09	9:58 ~ 11:50	
	会 議 種 別	2:18 協議会	2:53 協議会	1:09 協議会	1:52 協議会	
	出席委員/0内は傍聴者数	9人中9人 (1人)	9人中9人 (2人)	8人中8人 (1人)	9人中7人 (1人)	
	開 催 月 日				8月21日	
	会 議 時 間 (分)				12:59 ~ 13:14	
9月	開 催 月 日	9月8日	9月8日	9月8日	9月8日	
	会 議 時 間 (分)	10:59 ~ 12:29	10:59 ~ 11:53	10:59 ~ 11:22	10:59 ~ 12:08	
	会 議 種 別	1:30 委員会	0:54 委員会	0:23 委員会	1:09 委員会	
	出席委員/0内は傍聴者数	9人中9人 (0人)	9人中9人 (0人)	8人中8人 (0人)	9人中9人 (0人)	9月17日開催の民生環境常任委員会は諮問に対する答申書の確認
	開 催 月 日				9月17日	
	会 議 時 間 (分)				9:59 ~ 10:04	
10月	開 催 月 日	10月21日	10月21日	10月21日	10月21日	
	会 議 時 間 (分)	9:59 ~ 11:28	9:59 ~ 10:49	9:58 ~ 10:20	9:59 ~ 10:53	
	会 議 種 別	1:29 協議会	0:50 協議会	0:22 協議会	0:54 協議会	
	出席委員/0内は傍聴者数	9人中8人 (1人)	9人中9人 (1人)	8人中7人 (1人)	9人中8人 (1人)	
11月	開 催 月 日	11月18日	11月18日	11月18日	11月18日	
	会 議 時 間 (分)	10:00 ~ 11:08	9:59 ~ 11:28	9:58 ~ 10:41	9:58 ~ 11:35	
	会 議 種 別	1:08 協議会	1:29 協議会	0:43 協議会	1:37 協議会	
	出席委員/0内は傍聴者数	9人中9人 (0人)	9人中9人 (0人)	8人中6人 (0人)	9人中9人 (0人)	
12月	開 催 月 日	12月9日	12月9日	12月9日	12月9日	12月9日開催の文教経済常任委員会の休憩時間は12:43~13:31
	会 議 時 間 (分)	11:00 ~ 12:54	11:00 ~ 14:17	11:00 ~ 11:19	10:59 ~ 12:20	
	会 議 種 別	1:54 委員会	3:17 委員会	0:19 委員会	1:21 委員会	
	出席委員/0内は傍聴者数	8人中8人 (1人)	9人中9人 (1人)	8人中8人 (1人)	9人中9人 (1人)	12月16日開催の民生環境常任委員会は諮問に対する答申書の確認
	開 催 月 日		12月16日		12月16日	
	会 議 時 間 (分)		9:59 ~ 10:07		9:57 ~ 10:01	
平成28年 1月	開 催 月 日	1月21日	1月21日	1月21日	1月21日	
	会 議 時 間 (分)	9:59 ~ 10:58	9:59 ~ 11:09	9:59 ~ 10:45	9:59 ~ 11:30	
	会 議 種 別	0:59 協議会	1:10 協議会	0:46 協議会	1:31 協議会	
	出席委員/0内は傍聴者数	9人中8人 (1人)	9人中9人 (1人)	8人中7人 (1人)	9人中8人 (1人)	
2月	開 催 月 日	2月16日	2月16日	2月16日	2月16日	
	会 議 時 間 (分)	10:00 ~ 12:15	9:59 ~ 12:17	9:59 ~ 10:57	9:59 ~ 11:53	
	会 議 種 別	2:15 協議会	2:18 協議会	0:58 協議会	1:54 協議会	
	出席委員/0内は傍聴者数	9人中9人 (0人)	9人中8人 (0人)	8人中7人 (0人)	9人中9人 (0人)	
3月	開 催 月 日	3月8日	3月8日	3月8日	3月8日	
	会 議 時 間 (分)	11:00 ~ 13:55	10:59 ~ 12:28	10:59 ~ 11:26	10:59 ~ 13:58	
	会 議 種 別	2:55 委員会	1:29 委員会	0:27 委員会	2:59 委員会	
	出席委員/0内は傍聴者数	9人中9人 (1人)	9人中9人 (4人)	8人中8人 (1人)	9人中9人 (1人)	3月16日開催の民生環境常任委員会は諮問に対する答申書の確認
	開 催 月 日		3月18日		3月16日	
	会 議 時 間 (分)		15:59 ~ 17:10		10:00 ~ 10:04	
視 察		総務企画常任委員会(7月:春日井市、豊田市) 都市建設常任委員会(7月:鳥取市、堺市)		文教経済常任委員会(7月:呉市、岡山市) 民生環境常任委員会(7月:豊橋市、沼津市)		

2 特別委員会

(1) 定数及び任期等

一般選挙後の最初の臨時会において3つの特別委員会が設置されており、各特別委員会の定数は、雪対策特別委員会が12名、まちづくり対策特別委員会が11名、議会広報広聴特別委員会が12名で、任期はないが常任委員の任期満了に伴う中途改組の際に、辞任・選任の手続を行うこととしている。

(2) 委員会の開催

特別委員会は閉会中に必要に応じて開催し、閉会中も委員会活動ができるよう、毎会期閉会日に閉会中の継続審査に付する旨の議決を行っている。

(3) 所管事項及び名簿

平成28年4月1日現在

委員会名	所管事項	委員
雪対策特別委員会 (定数12名)	除排雪に関する事 雪処理施設に関する事 空き家及び落雪対策に関する事 福祉除雪に関する事	委員長 舘田 瑠美子 副委員長 秋村 光男 委員 舘山 善也 〃 葛西 育弘 〃 工藤 健 〃 山本 武朝 〃 斎藤 憲雄 〃 小豆畑 緑 〃 長谷川 章悦 〃 花田 明仁 〃 小田桐 金三 〃 奥谷 進
まちづくり対策 特別委員会 (定数11名)	中心市街地活性化に関する事 石江地区整備に関する事 セントラルパーク整備に関する事 浪岡駅周辺地区活性化に関する事 商店街活性化に関する事 アウガ経営に関する事 雇用対策に関する事 企業誘致に関する事 文化観光振興に関する事	委員長 木戸 喜美男 副委員長 藤田 誠 委員 奈良 祥孝 〃 竹山 美虎 〃 中田 靖人 〃 小倉 尚裕 〃 村川 みどり 〃 丸野 達夫 〃 藤原 浩平 〃 渋谷 勲 〃 赤木 長義

委員会名	所管事項	委員
議会広報広聴 特別委員会 (定数12名)	議会だよりに関する事 議会放映及びホームページに 関すること。 議会図書室の管理運営に関す ること。 議会報告会に関する事。	委員長 渡部 伸 広 副委員長 奈良岡 隆 委員 山脇 智 // 橋本 尚 美 // 軽米 智雅子 // 中村 美津緒 // 天内 慎也 // 木戸 喜美男 // 里村 誠悦 // 中村 節雄 // 木下 靖 // 仲谷 良子

(4)開催概要

開催内容		委員会名	雪対策特別委員会	まちづくり対策特別委員会	議会広報広聴特別委員会	備 考
平成27年 4月	開 催 月 日		4月30日		4月8日	
	会 議 時 間 (分)		9:58 ~ 10:51 0:53		10:00 ~ 11:45 1:45	
	会 議 種 別		委員会		委員会	
	出 席 委 員 (人)		12人中11人 (0人)		12人中12人 (0人)	
	開 催 月 日				4月15日	
	会 議 時 間 (分)				9:59 ~ 11:31 1:32	
	会 議 種 別				委員会	
	出 席 委 員 (人)				12人中11人 (0人)	
	開 催 月 日				4月28日	
	会 議 時 間 (分)				10:00 ~ 10:47 0:47	
	会 議 種 別				委員会	
	出 席 委 員 (人)				12人中10人 (0人)	
5月	開 催 月 日		5月20日			5月20日開催のまちづくり対策特別委員会の休憩時間は14:54~15:13
	会 議 時 間 (分)		13:31 ~ 15:15 1:44			
	会 議 種 別		委員会			
	出 席 委 員 / 0 内 は 傍 聴 者 数		11人中10人 (1人)			
6月	開 催 月 日					
	会 議 時 間 (分)					
	会 議 種 別					
	出 席 委 員 / 0 内 は 傍 聴 者 数					
7月	開 催 月 日		7月22日	7月6日	7月7日	
	会 議 時 間 (分)		10:00 ~ 10:35 0:35	11:15 ~ 12:03 0:48	9:58 ~ 10:19 0:21	
	会 議 種 別		委員会	委員会	委員会	
	出 席 委 員 / 0 内 は 傍 聴 者 数		12人中12人 (0人)	11人中10人 (0人)	12人中12人 (0人)	
	開 催 月 日				7月17日	
	会 議 時 間 (分)				10:01 ~ 11:49 1:48	
	会 議 種 別				委員会	
	出 席 委 員 / 0 内 は 傍 聴 者 数				12人中12人 (0人)	
8月	開 催 月 日		8月18日			8月18日開催のまちづくり対策特別委員会の休憩時間は14:25~15:03
	会 議 時 間 (分)		13:30 ~ 15:04 1:34			
	会 議 種 別		委員会			
	出 席 委 員 / 0 内 は 傍 聴 者 数		11人中10人 (1人)			
9月	開 催 月 日				9月28日	
	会 議 時 間 (分)				10:00 ~ 11:52 1:52	
	会 議 種 別				委員会	
	出 席 委 員 / 0 内 は 傍 聴 者 数				12人中12人 (0人)	
10月	開 催 月 日				10月20日	
	会 議 時 間 (分)				10:00 ~ 11:16 1:16	
	会 議 種 別				委員会	
	出 席 委 員 / 0 内 は 傍 聴 者 数				12人中11人 (0人)	
11月	開 催 月 日		11月17日	11月18日		11月18日開催のまちづくり対策特別委員会の休憩時間は14:31~15:41
	会 議 時 間 (分)		13:28 ~ 13:55 0:27	13:29 ~ 15:42 2:13		
	会 議 種 別		委員会	委員会		
	出 席 委 員 / 0 内 は 傍 聴 者 数		12人中10人 (0人)	11人中9人 (0人)		
12月	開 催 月 日				12月25日	
	会 議 時 間 (分)				10:00 ~ 10:50 0:50	
	会 議 種 別				委員会	
	出 席 委 員 / 0 内 は 傍 聴 者 数				12人中11人 (0人)	
平成28年 1月	開 催 月 日				1月19日	
	会 議 時 間 (分)				10:00 ~ 10:41 0:41	
	会 議 種 別				委員会	
	出 席 委 員 (人)				12人中9人 (0人)	
2月	開 催 月 日		2月2日	2月16日		2月16日開催のまちづくり対策特別委員会の休憩時間は14:44~15:27
	会 議 時 間 (分)		9:59 ~ 10:40 0:41	13:29 ~ 15:28 1:59		
	会 議 種 別		委員会	委員会		
	出 席 委 員 (人)		12人中12人 (0人)	11人中9人 (0人)		
3月	開 催 月 日					
	会 議 時 間 (分)					
	出 席 委 員 (人)					
視 察	雪対策特別委員会(10月:旭川市) まちづくり対策特別委員会(5月:富山市) 議会広報広聴特別委員会(10月:相模原市、あきる野市)					

3 予算特別委員会

予算案はすべて、第1回、第2回及び第4回定例会においては25人、第3回定例会においては20人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査する。なお、委員の人数は、各会派の所属議員数に応じ按分するものとし、無所属議員の取り扱いについては、議会運営委員会でその都度協議する。

(1) 開催日数

- ① 第1回定例会においては、3日間開催する。
- ② 第2回、第3回及び第4回定例会においては、2日間開催する。

(2) 会議時間について

午前10時から午後5時までとする。

(3) 発言時間

会派持ち時間制（小数点以下は切り捨て）とし、質疑者の発言時間（答弁を含む）は、会派の持ち時間内で融通できるものとする。

$$\text{会派持ち時間} = \langle \text{実質会議時間} \div \text{全議員数} \times \text{会派所属議員数} \rangle$$

※ 3日間開催の場合

$$\begin{array}{rclclclcl} \text{実質会議時間} & & \text{会議時間} & & \text{休憩時間} & & \text{採決に要する時間} \\ 930 \text{ 分} & = & 420 \text{ 分} \times 3 \text{ 日} & - & 90 \text{ 分} \times 3 \text{ 日} & - & 60 \text{ 分} \end{array}$$

[会派所属議員数と会派持ち時間の関係]

会派所属議員数（人）	11	10	9	8	7	6	5	4	3
会派持ち時間（分）	286	260	234	208	182	156	130	104	78

※ 2日間開催の場合

$$\begin{array}{rclclclcl} \text{実質会議時間} & & \text{会議時間} & & \text{休憩時間} & & \text{採決に要する時間} \\ 600 \text{ 分} & = & 420 \text{ 分} \times 2 \text{ 日} & - & 90 \text{ 分} \times 2 \text{ 日} & - & 60 \text{ 分} \end{array}$$

[会派所属議員数と会派持ち時間の関係]

会派所属議員数（人）	11	10	9	8	7	6	5	4	3
会派持ち時間（分）	187	170	153	136	119	102	85	68	51

(4) 質疑者数

会派に委ねるものとする。

(5) 審査の方法

付託された議案は、一括議題として審査することが通例となっている。

(6) 理事会

予算特別委員会内の事実上の協議機関として、正副委員長のほか各会派から理事を1名選出し、理事会を設ける。なお、無所属議員が委員となった場合は、オブザーバーとして理事会への出席を求める。

(7)開催概要

開催内容		委員会名			予算特別委員会			備考
平成27年 6月	開催月日	6月10日	6月12日	6月15日				
	会議時間(分)	10:39 ~ 10:45	9:59 ~ 16:48	10:00 ~ 16:18				
	(休憩時間)	0:06	6:49	6:18				
	(実会議時間)	0:06	1:28	1:41				
	会議種別	委員会(組織会)	委員会	委員会				
	出席委員/0内は傍聴者数	25人中25人 (0人)	25人中25人 (0人)	25人中25人 (0人)				
9月	開催月日	9月8日	9月14日	9月15日				
	会議時間(分)	10:24 ~ 10:29	10:00 ~ 16:51	10:00 ~ 17:17				
	(休憩時間)	0:05	6:51	7:17				
	(実会議時間)	0:05	1:40	3:00				
	会議種別	委員会(組織会)	委員会	委員会				
	出席委員/0内は傍聴者数	20人中20人 (0人)	20人中20人 (0人)	20人中20人 (0人)				
12月	開催月日	12月9日	12月11日	12月14日				
	会議時間(分)	10:34 ~ 10:40	10:00 ~ 16:44	10:00 ~ 19:00				
	(休憩時間)	0:06	6:44	9:00				
	(実会議時間)	0:06	1:38	4:37				
	会議種別	委員会(組織会)	委員会	委員会				
	出席委員/0内は傍聴者数	25人中25人 (0人)	25人中25人 (0人)	25人中25人 (0人)				
平成28年 3月	開催月日	3月8日	3月10日	3月14日				
	会議時間(分)	10:34 ~ 10:39	9:59 ~ 16:59	10:00 ~ 17:01				
	(休憩時間)	0:05	7:00	7:01				
	(実会議時間)	0:05	1:33	1:58				
	会議種別	委員会(組織会)	委員会	委員会				
	出席委員/0内は傍聴者数	26人中26人 (0人)	26人中26人 (5人)	26人中26人 (0人)				
	開催月日	3月15日						
	会議時間(分)	9:59 ~ 17:08						
	(休憩時間)	7:09						
	(実会議時間)	2:07						
	会議種別	委員会						
	出席委員/0内は傍聴者数	26人中26人 (2人)						

4 決算特別委員会

決算案はすべて、第3回定例会において20人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査する。なお、委員の人数は、各会派の所属議員数に応じ按分するものとし、無所属議員の取り扱いについては、議会運営委員会でその都度協議する。

(1) 開催日数

2日間とする。

(2) 会議時間

午前10時から午後5時までとしている。

(3) 発言時間

会派持ち時間制（小数点以下は切り捨て）とし、質疑者の発言時間（答弁を含む）は、会派の持ち時間内で融通できるものとする。

$$\text{会派持ち時間} = \langle \text{実質会議時間} \div \text{議員人数} \times \text{会派の所属議員数} \rangle$$

※ 実質会議時間

$$\begin{array}{l} \text{実質会議時間} \\ 600 \text{分} \end{array} = \begin{array}{l} \text{会議時間} \\ 420 \text{分} \times 2 \text{日} \end{array} - \begin{array}{l} \text{休憩時間} \\ 90 \text{分} \times 2 \text{日} \end{array} - \begin{array}{l} \text{採決に要する時間} \\ 60 \text{分} \end{array}$$

[会派所属議員数と会派持ち時間の関係]

会派所属議員数（人）	11	10	9	8	7	6	5	4	3
会派持ち時間（分）	187	170	153	136	119	102	85	68	51

(4) 質疑者数

会派に委ねるものとする。

(5) 審査の方法

付託された議案は、一括議題として審査することが通例となっている。

(6) 理事会

決算特別委員会内の事実上の協議機関として、正副委員長のほか各会派から理事を1名選出し、理事会を設ける。なお、無所属議員が委員となった場合は、オブザーバーとして理事会への出席を求める。

(7) 開催概要

【平成27年度】

開催内容		委員会名			決算特別委員会			備考
平成27年 9月	開催月日	9月8日	9月10日	9月11日				
	会議時間(分)	10:39 ~ 10:45 0:06	10:00 ~ 16:20 6:20	9:59 ~ 14:27 4:28				
	(休憩時間)		1:40	1:01				
	(実会議時間)	0:06	4:40	3:27				
	会議種別	委員会(組織会)	委員会	委員会				
	出席委員(人)	20人中20人	20人中20人	20人中20人				

5 議会運営委員会

(1) 定数及び任期

委員の定数は13名で、会派（所属議員3名以上）から所属議員3名につき1名の委員を選出しており、任期は2年としている。

(2) 委員会の協議事項

① 議会の運営に関する事項

- ア 会期及び日程に関する事項
- イ 議案、請願、陳情等の取扱いに関する事項
- ウ 発言（質問、質疑及び討論等）の取扱いに関する事項
- エ 委員会付託に関する事項
- オ 議会において行う選挙、選任及び推薦に関する事項
- カ 特別委員会の設置等に関する事項
- キ 議場の秩序維持に関する事項
- ク 懲罰事犯の取扱いに関する事項
- ケ その他議会の運営に関する事項

② 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項

③ 議長の諮問に関する事項

- ア 議員派遣に関する事項
- イ その他議長が必要があると認めた事項

(3) 委員外議員の取り扱い

委員を選出できない無所属の場合、一議員に対し委員外議員として出席の要請をしている。

また、委員1名を選出している会派の当該委員が出席できないときは、その代理者に対し委員外議員として出席を要請している。

議会運営委員会（平成28年4月1日現在10名）

委員 長	長谷川 章 悦	委 員	中 村 節 雄
副委員 長	渡 部 伸 広	委 員	山 脇 智
委 員	中 田 靖 人	委 員	村川 みどり
委 員	館 山 善 也	委 員	奈 良 祥 孝子
委 員	奈良岡 隆	委 員	仲 谷 良 子

(4)開催概要

開催内容		委員会名 議会運営委員会					備考
平成27年 4月	開催月日	4月21日					
	会議時間(分)	9:00 ~ 9:32 0:32					
	出席委員/0内は傍聴者数	10人中8人(0人)					
5月	開催月日	5月21日	5月26日	5月28日			
	会議時間(分)	10:00 ~ 11:28 1:28	13:30 ~ 14:02 0:32	10:30 ~ 10:33 0:03			
	出席委員/0内は傍聴者数	10人中10人(0人)	10人中10人(0人)	10人中10人(0人)			
6月	開催月日	6月1日	6月3日	6月4日	6月18日	6月22日	6月23日開催分の 休憩時間 11:58~13:00 13:26~13:45 16:56~17:09 18:20~19:34
	会議時間(分)	13:00 ~ 13:11 0:11	15:15 ~ 15:35 0:20	12:45 ~ 12:52 0:07	10:00 ~ 11:12 1:12	13:29 ~ 13:53 0:24	
	出席委員/0内は傍聴者数	10人中10人(0人)	10人中10人(0人)	10人中10人(0人)	10人中10人(0人)	10人中10人(0人)	
	開催月日	6月23日	6月23日	6月23日	6月23日		
	会議時間(分)	11:49 ~ 13:01 1:12	13:24 ~ 13:47 0:23	16:49 ~ 17:10 0:21	18:05 ~ 19:40 1:35		
7月	開催月日	7月17日	7月21日				
	会議時間(分)	13:30 ~ 14:01 0:31	13:30 ~ 13:36 0:06				
	出席委員/0内は傍聴者数	10人中10人(0人)	10人中10人(0人)				
8月	開催月日	8月19日	8月24日	8月28日			
	会議時間(分)	10:00 ~ 10:58 0:58	13:30 ~ 13:51 0:21	13:15 ~ 13:42 0:27			
	出席委員/0内は傍聴者数	10人中9人(0人)	10人中10人(0人)	10人中9人(0人)			
9月	開催月日	9月1日	9月2日	9月3日	9月4日	9月7日	9月25日開催分の 休憩時間 11:02~11:16
	会議時間(分)	15:30 ~ 15:43 0:13	12:50 ~ 12:57 0:07	15:21 ~ 15:35 0:14	15:10 ~ 15:12 0:02	15:40 ~ 15:50 0:10	
	出席委員/0内は傍聴者数	10人中10人(0人)	10人中10人(0人)	10人中9人(0人)	10人中10人(0人)	10人中10人(0人)	
	開催月日	9月24日	9月25日				
	会議時間(分)	10:00 ~ 10:32 0:32	10:58 ~ 11:18 0:20				
10月	開催月日	10月21日					
	会議時間(分)	13:00 ~ 13:40 0:40					
	出席委員/0内は傍聴者数	10人中10人(0人)					
11月	開催月日	11月19日	11月24日	11月30日			
	会議時間(分)	9:59 ~ 11:19 1:20	13:30 ~ 14:00 0:30	13:00 ~ 13:10 0:10			
	出席委員/0内は傍聴者数	10人中10人(0人)	10人中9人(0人)	10人中10人(0人)			
12月	開催月日	12月2日	12月3日	12月15日	12月21日		
	会議時間(分)	15:14 ~ 15:24 0:10	12:30 ~ 12:36 0:06	10:00 ~ 10:12 0:12	9:59 ~ 10:24 0:25		
	出席委員/0内は傍聴者数	10人中10人(0人)	10人中10人(0人)	10人中10人(0人)	10人中10人(0人)		
平成28年 1月	開催月日	1月21日					
	会議時間(分)	13:00 ~ 13:17 0:17					
	出席委員/0内は傍聴者数	10人中8人(0人)					
2月	開催月日	2月17日	2月22日	2月26日			
	会議時間(分)	9:59 ~ 11:24 1:25	13:29 ~ 14:05 0:36	13:00 ~ 13:30 0:30			
	出席委員/0内は傍聴者数	10人中10人(0人)	10人中10人(0人)	10人中10人(0人)			
3月	開催月日	3月1日	3月2日	3月22日	3月23日	3月23日	3月23日開催分の 休憩時間 12:48~13:09 15:09~15:34
	会議時間(分)	15:15 ~ 15:30 0:15	12:45 ~ 12:52 0:07	9:59 ~ 10:47 0:48	12:44 ~ 13:11 0:27	14:59 ~ 15:38 0:39	
	出席委員/0内は傍聴者数	10人中10人(0人)	10人中10人(0人)	10人中9人(0人)	10人中10人(0人)	10人中10人(0人)	
視 察		10月: 柏市、町田市					

6 各派代表者会議

(1) 構成

議長、副議長及び各会派の代表者1名ずつで構成している。

議長が会議を主宰し、議長に事故があるとき又は欠けたときは副議長が議長の職務を行う。

なお、代表者に事故があるときは、代理者を出席させることができる。

(2) 協議事項

① 市長提出の人事案件に関する事項

② 議会内人事案件に関する事項

③ 議会費、当初予算要求資料の検討に関する事項

④ 地方自治法第180条第1項の規定による市長の専決処分事項の指定に関する事項

⑤ 会派間の連絡調整に関する事項

ア 議員の海外行政視察等に関する事項

イ 市及び議会の行事に関する事項

ウ 議会の慶弔に関する事項

⑥ 行政執行上の重要課題（危機管理等を含む）に関する事項

⑦ その他議長が協議・報告することが適当であると認められる事項

(3) 決定事項の会派への周知

各会派の代表者が自会派に持ち帰り周知徹底する。

(4) 開催実績

平成27年度 26回

各派代表者会議（平成28年4月1日現在）

議長	大 矢	保	日 本 共 産 党	藤 原 浩 平
副 議 長	竹 山 美 虎	日 本 共 産 党	藤 原 浩 平	木 下 靖
自 民 清 風 会	洪 谷 勲	日 本 共 産 党	藤 原 浩 平	木 下 靖
新 政 無 所 属 の 会	奥 谷 進	日 本 共 産 党	藤 原 浩 平	木 下 靖

7 議会改革検討委員会

(1) 構成

委員会は、会派（所属議員3名以上）から所属議員3名につき1名の委員を選出している。

(2) 協議事項

議会改革に係る諸事項（他の委員会等が所管するものを除く。）

(3) 委員外議員の取り扱い

委員を選出できない無所属の場合、一議員に対し委員外議員として出席の要請をしている。

また、委員1名を選出している会派の当該委員が出席できないときは、その代理者に対し委員外議員として出席を要請している。

議会改革検討委員会（平成28年4月1日現在10名）

委員長	花田明仁	委員	小倉尚裕
副委員長	山本武朝	委員	山脇智
委員	木戸喜美男	委員	村川みどり
委員	里村誠悦	委員	工藤健
委員	奈良岡隆	委員	藤田誠

8 議会選出各種委員等（推薦予定の者も含む）

（平成 28 年 4 月 1 日現在）

（1）議会の同意及び選挙並びに推薦で決定すべき委員・議員

名 称	定 数	う ち 議員数	委 員（議 員） 名
監 査 委 員 会	4 名	2 名	丸野・赤木
農 業 委 員 会	38 名	4 名	小豆畑・奥谷・舘田・工藤
青 森 地 域 広 域 事 務 組 合	17 名	9 名	◎渋谷・舘山・花田・奈良岡・村川・ 山脇・奈良・山本・斎藤
黒 石 地 区 清 掃 施 設 組 合	10 名	2 名	長谷川・天内

◎は事務組合議会議長

※青森地域広域消防事務組合は平成 27 年 3 月 31 日で解散し、同年 4 月 1 日に青森地域広域事務組合と統合

（2）附属機関の委員（地方自治法第 138 条の 4 第 3 項に基づくもの）

名 称	定 数	う ち 議員数	委 員 名
病 院 運 営 審 議 会	9 名	5 名	◎渡部・渋谷・奥谷・天内・奈良
国民健康保険運営協議会	15 名	2 名	小田桐・村川
自動車運送事業運営審議会	15 名以内	3 名	舘山・工藤・仲谷
都 市 計 画 審 議 会	20 名以内	7 名	中田・花田・奥谷・山脇・木下・ 山本・藤田

◎は会長

（3）その他の委員等

名 称	定数	う ち 議員数	委 員（等） 名
土 地 開 発 公 社	—	8 名	各常任委員会正副委員長
交 通 安 全 対 策 協 議 会	—	4 名	議長、副議長、工藤（文教経済常任委員 長）、中田（都市建設常任委員長）
青 森 県 鉄 道 整 備 促 進 期 成 会	—	1 名	議長
主 要 地 方 道 屏 風 山 内 真 部 線 完 成 促 進 期 成 同 盟 会	—	2 名	議長、中田（都市建設常任委員長）
青 森 港 環 境 整 備 促 進 期 成 同 盟 会	—	10 名	議長、副議長、都市建設常任委員全員
青 森 港 振 興 協 会	—	3 名	議長、工藤（文教経済常任委員 長）、中田（都市建設常任委員長）、
堤 川 水 系 整 備 促 進 期 成 同 盟 会	—	9 名	議長、都市建設常任委員全員
天 田 内 川 改 修 事 業 促 進 期 成 同 盟 会	—	1 名	中田（都市建設常任委員長）
暴 力 追 放 青 森 市 民 会 議	—	2 名	議長、中村（節）（総務企画常任委員 長）

IV 請 願 ・ 陳 情

1 請願の取り扱い

(1) 請願書は、邦文を用いて請願の趣旨、提出年月日、請願者の住所（法人の場合は所在）及び氏名（法人の場合はその名称及び代表者の氏名）を記載し、押印したものを提出する。

(2) 請願は、1名以上の紹介議員の署名または記名押印が必要である。ただし、正副議長は請願の紹介議員になることを遠慮するよう、また、議員は、自己の所属する委員会に係る請願の紹介議員になることを遠慮するよう、議会運営委員会の申し合わせ事項で定められている。

(3) 請願は、開会日の翌日（当日が市の休日の場合は、その翌日）の午後5時までに提出されたものについては、各所管委員会にそれぞれ付託の上、審査を行っている。

締め切り日以降に提出されたものについては、原則として閉会日に所管委員会に閉会中の継続審査事件として付託する。ただし、緊急を要するものについては、閉会日に本会議で審査することができる。なお、内容が複数の委員会にまたがる請願については、受理する前に分割して提出するよう指導している。

複数項目の請願が提出された場合は、内容が密接不可分で分割できない場合を除き、1項目ずつの請願が提出されたものとして取り扱い、疑義がある場合は議会運営委員会でその取り扱いを協議する。

(4) 閉会中に提出された請願は、議長がその都度受理し、次の議会において所管の委員会に付託する。

(5) 議会において審議されたものは、その結果を文書をもって提出者に通知する。

また、採択となったもので、市長その他の関係機関において処理すべきものは、これを送付し、年度末までに報告を求め、第2回定例会（6月）において報告する。

2 陳情の取り扱い

(1) 陳情書は、邦文を用いて陳情の趣旨、提出年月日、陳情者の住所（法人の場合は所在）及び氏名（法人の場合はその名称及び代表者の氏名）を記載し、押印したものを提出する。

(2) 陳情は、議長がその都度受理し、議長呈覧とした上で、その写しを各会派及び無所属議員に配付する。

(3) 議員は、受理された陳情のうち、その内容に賛同するものについては、陳情者に連絡をとり、自らが紹介議員となって請願として提出するよう働きかけることとしている。

(4) 受理された陳情のうち、(3)によらず委員会に付託して審査すべきとの意見が議員から出されたものについては、議会運営委員会でその取り扱いを協議する。

3 請願受理状況一覧表

【平成27年】

提出時期	受理年月日	受理番号	件名	団体名	請願者氏名
H27第2回	H27.5.28	1	青森市スポーツ施設への人工芝設置に関する請願	人工芝設置一人署名市民の会	呼びかけ人 青森市サッカー協会会長 里村 英博
H27第2回	H27.5.29	2	青い森鉄道浅虫温泉駅へのエレベーター等に関する請願（その1）	浅虫温泉地域活性化協議会	会長 蛭名 幸一
H27第2回	H27.5.29	3	青い森鉄道浅虫温泉駅へのエレベーター等に関する請願（その2）	浅虫温泉地域活性化協議会	会長 蛭名 幸一
H27第3回	H27.8.27	4	介護報酬の見直し等の意見書提出に関する請願	東青社会保障推進協議会	会長 森 明彦
H27第4回	H27.11.25	5	青森市議会本会議場に国旗と青森市旗を掲揚することを求める請願	—	中村 三郎

【平成28年】

提出時期	受理年月日	受理番号	件名	団体名	請願者氏名
H28第1回	H28.2.24	1	小・中学校に青森ねぶた誌を活用した青森ねぶた教育を取り入れることを求める請願（その1）	T e a m / 9 1 0	代表 工藤 正之
H28第1回	H28.2.24	2	小・中学校に青森ねぶた誌を活用した青森ねぶた教育を取り入れることを求める請願（その2）	T e a m / 9 1 0	代表 工藤 正之
H28第1回	H28.2.25	3	小・中学校給食費値上げの中止を求める請願	新日本婦人の会青森支部	支部長 北田 文子
H28第1回	H28.2.25	4	多子世帯における小・中学校給食費の負担軽減制度を求める請願	新日本婦人の会青森支部	支部長 北田 文子

付託委員会名	付託年月日	委員会審査結果	議決年月日	議決結果	備考
文教経済（常）	H27. 6. 10	採択	H27. 6. 23	採択	
都市建設（常）	H27. 6. 10	採択	H27. 6. 23	採択	
都市建設（常）	H27. 6. 10	採択	H27. 6. 23	採択	
民生環境（常）	H27. 9. 8	不採択	H27. 9. 25	不採択	
議会運営	H27. 12. 15	不採択	H27. 12. 22	不採択	

付託委員会名	付託年月日	委員会審査結果	議決年月日	議決結果	備考
文教経済（常）	H28. 3. 8	採択	H28. 3. 23	採択	
文教経済（常）	H28. 3. 8	採択	H28. 3. 23	採択	
文教経済（常）	H28. 3. 8	不採択	H28. 3. 23	不採択	
文教経済（常）	H28. 3. 8	不採択	H28. 3. 23	不採択	

4 陳情受理状況一覧表

【平成27年】

提出時期	受 理 年 月 日	受理番号	件 名	団体名	陳情者氏名
H27第2回	H27. 5. 18	38	労働基準法及び労働者派遣法の「改正」に反対する意見採択の陳情	青森県労働組合総連合	奥村 榮
H27第2回	H27. 5. 25	39	「安全保障関連法案」の廃案を求める意見書採択の請願	青森県労働組合総連合	奥村 榮
H27第3回	H27. 7. 17	40	下水道使用料督促手数料の無料化の是正を求める陳情	—	三国谷 清一
H27第3回	H27. 8. 17	41	外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情	—	小坪 慎也
H27第3回	H27. 8. 26	42	青森市役所新庁舎内に喫煙室の設置を求める陳情について	青森県たばこ販売協議会	川嶋 廣道
H27第3回	H27. 8. 27	43	治安維持法犠牲者に国家賠償法の制定を求める国への意見書の提出についての陳情書	治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟青森県東青支部	舘田 篤廣
H27第4回	H27. 11. 13	44	沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情	名護市議会議員	宮城 安秀
H27第4回	H27. 11. 24	45	若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の陳情	全日本年金者組合青森県本部	執行委員長 千代谷 邦弘

【平成28年】

提出時期	受 理 年 月 日	受理番号	件 名	団体名	陳情者氏名
H28第1回	H28. 1. 8	1	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	軽度外傷性脳損傷仲間の会	代表 藤本 久美子
H28第1回	H28. 2. 25	2	アウガの再生と青森駅周辺整備のまちづくりに関する陳情	青森市まちづくり市民運動の会	共同代表 渡辺 克行
H28第1回	H28. 2. 25	3	アウガ、青森駅、市庁舎の問題について、一体的かつ建設的な取り組みを模索していけるように市民と有識者により構成された会議体の設置を望む陳情	市民団体あおもりボイス	共同代表 丸山 桂多

付託委員会名	付託年月日	委員会審査結果	議決年月日	議決結果	備考
—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	

付託委員会名	付託年月日	委員会審査結果	議決年月日	議決結果	備考
—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	

V 報 酬 ・ 旅 費 等

1 議員報酬（平成 27 年 1 月 1 日適用）

区分	議 長	副議長	議 員
月額（円）	646,200	592,200	569,700

※ 新たに議員等になった場合は、議員等になった日から支給する。（日割計算）
議員等が辞職または死亡したときは、その日の属する月分までを支給する。

参考／特別職等の給料（平成 27 年 1 月 1 日適用）

区分	市長	副市長	浪岡区長	教育長	公営企業 管理者
月額（円）	1,000,000	788,000	712,300	660,500	635,000
※平成 27 年 1 月 1 日 から平成 28 年 12 月 31 日までの間は次の とおり減額して支給	850,000	748,600	—	—	—

2 期末手当（加算割合含む 平成 28 年 4 月 1 日適用）

区 分	6 月	12 月
算定式	報酬月額×1.425×1.2	報酬月額×1.575×1.2

3 費用弁償

（1）運賃・宿泊料（平成 17 年 4 月 1 日適用）

区 分	内 容
鉄 道 賃	乗車に要する旅客運賃、急行料金及び特別車両料金。
船 賃	乗船に要する旅客運賃及び特別船室料金。
航 空 賃	現に支払った旅客運賃。
日当（1日につき）	3,000 円
宿泊料 （一夜につき）	14,800 円
甲地方※	14,800 円
乙地方※	13,300 円

※甲地方とは市制施行地、乙地方とはその他の地域。

(2) 議会の会議等への出席（平成 22 年 11 月 26 日適用）

金 額：議会の会議等へ出席した場合、1 日につき、居住地から議事堂までの距離に応じて、以下の区分により支給する。ただし、片用の自動車等を利用して出席した場合は支給しない。

支給対象会議：本会議、委員会、青森市議会会議規則第 168 条第 1 項の規定により設けられた会議（各派代表者会議、全員協議会、常任委員協議会）

居住地から議事堂までの距離	費用弁償の額（円）
片道 10 キロメートル未満	1,000
片道 10 キロメートル以上 20 キロメートル未満	2,000
片道 20 キロメートル以上	2,500

4 視察旅費（平成 28 年度当初予算）

区 分		年額（円）
一般行政視察旅費（1 人当たり）		200,000
陳情・視察旅費	常 任 委 員 会（1 人当たり）	110,000
	議会運営委員会（1 人当たり）	110,000
	特 別 委 員 会（1 人当たり）	90,000

5 政務活動費（平成 25 年 3 月 1 日適用）

金 額：1 人当たり月額 90,000 円を四半期ごとに交付

支給対象：以下に掲げるいずれかとする。

- ① 会派
- ② 会派に属する議員の全てが議員個人に対する政務活動費の交付を希望する場合における当該議員
- ③ 会派に属さない議員（無所属議員）

6 議員派遣実績一覧表（平成27年4月～平成28年3月）※市内除く

番号	派遣目的	派遣場所	派遣期間	派遣議員
1	水木しげるロードリニューアル基本構想に関する調査 市庁舎建設に関する調査	境港市 鳥取市	H27. 4. 22～ 4. 24	木下靖 議員 秋村光男 議員 奈良祥孝 議員 竹山美虎 議員
2	子どもの医療費に関する調査 国保料に関する調査 空き家対策に関する調査	岡崎市 堺市 東京都文京区	H27. 5. 11～ 5. 14	藤原浩平 議員 館田瑠美子 議員 村川みどり 議員 天内慎也 議員 山脇智 議員
3	屋久島CO ₂ フリーの島づくりに関する調査 屋久島循環型社会システムの取り組みに関する調査 グリーンツーリズムに関する調査 大連チャレンジショップに関する調査	屋久島町 鹿児島市 北九州市	H27. 5. 11～ 5. 14	大矢保 議員 長谷川章悦 議員 渋谷勲 議員 小豆畑緑 議員 里村誠悦 議員 花田明仁 議員 中田靖人 議員 木戸喜美男 議員 館山善也 議員
4	こんにちは赤ちゃん訪問事業に関する調査 タブレット端末の導入に関する調査 避難所運営マニュアル作成事業に関する調査	福島市 飯能市 国立市	H27. 6. 29～ 7. 1	工藤健 議員
5	議会力向上会議に関する調査 議会ICT化事業に関する調査 障害者就労支援事業に関する調査	堺市 大津市 箕面市	H27. 6. 29～ 7. 1	斎藤憲雄 議員 藤谷良子 議員 藤田誠 議員
6	フードバレーとかちに関する調査 福祉コミュニティエリア整備に関する調査	帯広市 函館市	H27. 7. 13～ 7. 14	橋本尚美 議員

番号	派遣目的	派遣場所	派遣期間	派遣議員
7	つくば環境スタイルに関する調査	つくば市	H27. 8. 20～ 8. 21	奈良岡 隆 議員 中 村 美津緒 議員
8	友好交流 20 周年記念に伴う韓国平澤市訪問	韓国平澤市	H27. 10. 15～ 10. 18	大 矢 保 議員 竹 山 美 虎 議員 木 戸 喜 美 男 議員 奥 谷 進 議員 村 川 みどり 議員 奈 良 祥 孝 議員 赤 木 長 義 議員
9	子ども夢パーク運営と不登校児童対策業務に関する調査	川崎市	H27. 10. 16	橋 本 尚 美 議員
10	下関駅にぎわいプロジェクトに関する調査 リノベーションまちづくり事業に関する調査	下関市 北九州市	H27. 11. 4～ 11. 6	木 下 靖 議員 工 藤 健 議員 秋 村 光 男 議員 奈 良 祥 孝 議員 竹 山 美 虎 議員
11	男女共同参画推進条例に関する調査	越前市	H27. 11. 5～ 11. 6	仲 谷 良 子 議員
12	地域包括ケアシステムに関する調査 通年議会・議会改革に関する調査 市政情報コーナーと立川市議会図書室に関する調査 たちかわ中央公園スケートパークに関する調査	伊賀市 四日市市 立川市	H27. 11. 8～ 11. 11	赤 木 長 義 議員 渡 部 伸 広 議員 山 本 武 朝 議員 軽 米 智 雅子 議員
13	萩まちじゅう博物館の取り組みに関する調査 ごみの訪問収集時の安否確認に関する調査	萩市 東京都中野区	H27. 11. 9～ 11. 11	丸 野 達 夫 議員 奥 谷 進 議員 小 倉 尚 裕 議員 中 村 節 雄 議員 中 村 美津緒 議員

番号	派遣目的	派遣場所	派遣期間	派遣議員
14	平成27年度青森県市議会議長会議員研修会	八戸市	H27. 11. 20	大矢 保 議員 長谷川 章 悦 議員 渋谷 勲 議員 小豆畑 緑 議員 里村 誠 悦 議員 中田 靖 人 議員 木戸 喜美男 議員 館山 善也 議員 藤原 浩 平 議員 木下 靖 議員 工藤 健 議員 秋村 光 男 議員 奈良 祥 孝 議員 斎藤 憲 雄 議員 橋本 尚 美 議員
15	HACCP 対応の魚市場に関する調査	八戸市	H27. 11. 20～ 11. 21	長谷川 章 悦 議員 中田 靖 人 議員 木戸 喜美男 議員 館山 善也 議員
16	木育推進（ウッドスタート）事業に関する調査 予約型相乗りタクシー「カシワニクル」に関する調査	小田原市 柏市	H28. 1. 25～ 1. 27	丸野 達 夫 議員 奥谷 進 議員 小倉 尚 裕 議員 中村 節 雄 議員
17	新たな交通システムに関する調査 市立甲府病院における事業所内保育に関する調査	新潟市 甲府市	H28. 1. 25～ 1. 27	藤田 誠 議員
18	堺市文化観光拠点「さかい利品の杜」整備事業に関する調査 通年議会に関する調査	堺市 京都市	H28. 1. 26～ 1. 27	赤木 長 義 議員 渡部 伸 広 議員 山本 武 朝 議員 軽米 智 雅子 議員
19	健康保養地づくりに関する調査	伊東市	H28. 2. 9～ 2. 10	橋本 尚 美 議員

7 視察来訪実績

【平成27年度】

(1) 議員視察受入件数・延べ人数

受入件数	延べ人数
40件 (受け入れた自治体等の数：36団体)	294人

(2) 視察調査内容

視察調査内容	項目数	視察調査内容	項目数
コンパクトシティのまちづくりについて	9	子どもの医療費助成について	1
中心市街地活性化基本計画について	8	保育所や幼稚園の保育料の軽減について	1
東北新幹線開通に伴う新青森駅の整備について	4	「健康づくり応援店」認定事業について	1
議会改革について	3	子ども子育て支援事業計画について (認定こども園について)	1
再生可能エネルギー推進の取組みについて	2	元気都市あおもり健康アップ推進会議について	1
青森市新清掃工場について	2	元気都市あおもり応援寄付制度について	1
観光振興（ねぶた祭）、ワ・ラッセについて	2	地域コミュニティ（まちづくり協議会）について	1
子どもの権利条例について	2	青森市公共サービス外部化制度について	1
競輪事業について	2	空き家条例の制定及び取組みについて	1
新青森駅周辺整備計画について	2	景観への取組みについて	1
議会運営について	1	まちなか住み替え支援事業について	1
議会広報について	1	青森駅周辺整備について	1
青森市森林博物館の管理運営について	1	ESCO事業による防犯灯LED化について	1
青森市観光アクションプランについて	1	貧困により生じる放課後格差への対応状況について（学童保育等の利用に関して）	1
商店街空き店舗対策事業について	1		
合計			55

※1件の視察で複数項目している場合もあるため、受入件数の合計とは符合しない。

8 議会関係予算

(単位:千円)

予算科目	平成28年度当初		平成27年度当初		比較	備考
	予算額	割合	予算額	割合		
報酬	240,462	36.26	240,462	33.61	0	
給料	66,012	9.95	66,573	9.31	△ 561	
職員手当等	129,569	19.54	131,481	18.38	△ 1,912	職員構成の変化に伴う減
共済費	121,640	18.34	176,232	24.64	△ 54,592	議員年金制度廃止に係る地方公共団体負担金の率の変更に伴う減
賃金	4,527	0.68	4,526	0.63	1	
報償費	40	0.01	0	0.00	40	
費用弁償	21,859	3.30	23,097	3.23	△ 1,238	役職の変動に伴う各種議長会旅費の減
旅費	4,386	0.66	4,753	0.66	△ 367	
交際費	812	0.12	829	0.12	△ 17	
消耗品費	1,946	0.29	1,856	0.26	90	
食糧費	150	0.02	150	0.02	0	
印刷製本費	6,725	1.01	7,632	1.07	△ 907	
一般修繕料	35	0.01	35	0.00	0	
通信運搬費	3,513	0.53	610	0.09	2,903	ICT化推進経費等の増
手数料	103	0.02	117	0.02	△ 14	
委託料	19,488	2.94	15,534	2.17	3,954	ICT化推進経費、本会議インターネット中継運用管理等委託料の増
使用料及び賃借料	1,091	0.16	630	0.09	461	
備品購入費	760	0.11	685	0.10	75	
負担金	2,313	0.35	2,363	0.33	△ 50	
補助及び交付金	37,800	5.70	37,800	5.28	0	
合計	663,231	100.00	715,365	100.00	△ 52,134	
※当初予算に占める議会費の割合	0.6		0.6			

Ⅵ 議 会 の 広 報

1 会議録

名 称 青森市議会会議録
発行部数 定例会ごと 120 部発行
(臨時会の会議録は直近の定例会の会議録と合本)
印刷の種類 A4判、10.5ポイント、横書き、46字×40行
発行経費 平成28年度契約額 音声データ反訳費用(1時間当たり)…26,460円
配付先 次期定例会の告示日以降に議員及び理事者並びに国立国会図書館
県立図書館、市民図書館、各市民センターなどに配付

※ 速記の委託

原則として速記者の派遣を要請せず、すべて音声データ反訳とする。
(改選時の臨時会及び中途改組時等において議会内人事案件が議題となるとき、
また、特別な諸事情があるときに限り、速記者の派遣を要請している。)

2 議会報

(1) 紙面版

名 称 あおもり市議会だより
創 刊 平成17年5月
発行部数 定例会ごと 124,200 部発行
仕 様 A4判、10.5ポイント、縦5段組、15字×33行
用 紙 マットコート紙70kgで次の条件を満たすもの
古紙パルプ配合率の極力高い製品、または古紙パルプとともにその他の
環境配慮パルプ(森林認証パルプや植林木パルプ等)を使用したもの
ページ数 12ページ(14ページ…改選後、初の市議会だよりは議員紹介ページ
を追加するため)
配布方法 業者委託により配布
発行経費 平成28年度契約額
印刷費用…5,515,672円、配布費用(1部当たり)…14,256円
編 集 議会広報広聴特別委員会(委員数12名)

(2) 点字版

創 刊 平成 19 年 4 月
発行部数 定例会ごとおおむね 90 部発行
仕 様 B 5 判変形、エンボス点字（本文両面印刷）
用 紙 表紙：上質紙 110kg 本文：上質紙 90kg
ページ数 90 ページ程度
配布方法 第四種郵便物（点字郵便物）として利用者に無料で送付
発行経費 平成 28 年度契約額 印刷費用（1 部当たり）…1,033 円
編 集 議会広報広聴特別委員会（委員数 12 名）

(3) テープ版・CD版

創 刊 テープ版：平成 19 年 4 月
CD版（デージー図書）：平成 25 年 5 月
発行部数 定例会ごとおおむね 50 部発行
録音の種類 カセットテープ・CD
配布方法 第四種郵便物（特定録音物等郵便物）として利用者に無料で送付
発行経費 平成 28 年度契約額 朗読、ダビング及び発送費用…86,800 円
編 集 議会広報広聴特別委員会（委員数 12 名）

※点字版及びテープ版・CD版のあおり市議会だよりの発行に対し、障害者に係る地域生活支援事業費補助金（国から 1/2、県から 1/4）が交付されている。

3 ケーブルテレビ

平成 11 年第 3 回定例会（旧青森市）より、青森ケーブルテレビの加入世帯に、青森市議会本会議の様子を開議から閉議までノーカット・ノー編集・ノー解説の生中継で放映。

青森ケーブルテレビ株式会社の番組として放映されるため、本市から同社への放映料の負担はなし。

4 青森市議会ホームページ

平成 15 年 8 月 1 日より運用開始（旧青森市）。

市議会の概要、定例会・臨時会の開催状況、あおもり市議会だより等を掲載。

会議録検索システム（旧青森市：平成 10 年第 1 回臨時会分から、旧浪岡町：平成 15 年第 4 回臨時会分から）の配信、本会議のインターネットによる生中継の配信（平成 17 年第 1 回定例会から）、本会議のインターネットによる録画映像の配信（平成 20 年第 2 回定例会から実施。過去 1 年間分の録画映像が視聴可能）を実施。

【ホームページアドレス】

<http://www.city.aomori.aomori.jp/gikai/top.html>

5 青森市議会議会報告会

開催実績：①平成 27 年第 1 回議員とカダる会（議会報告会・意見交換会）

内 容：平成 27 年第 1 回定例会の報告、自由意見交換

日 時：平成 27 年 5 月 24 日（日）13 時 30 分～15 時 30 分

会 場：アピオあおもり、浪岡中央公民館

参加者数：45 名

②平成 27 年第 2 回議員とカダる会（議会報告会・意見交換会）

内 容：議会報告、自由意見交換

日 時：平成 27 年 10 月 25 日（日）13 時 30 分～15 時 30 分

会 場：アピオあおもり、浪岡中央公民館

参加者数：28 名

Ⅶ 議 会 図 書 室

(1) 設置目的

議員の調査研究に必要な図書及び参考となる資料を収集し、議員の調査研究に資することを目的とする。(地方自治法第100条第19項)

(2) 利用及び収集整理

図書室は、市議会議員のほか、市職員が利用できる。

図書の貸し出しは1回につき1人5冊まで、貸し出し期間は貸出日から15日間。

整理方法は、図書台帳に登録の上、日本十進分類法により整理。

(3) 蔵書数 (平成28年4月1日現在)

(単位：冊)

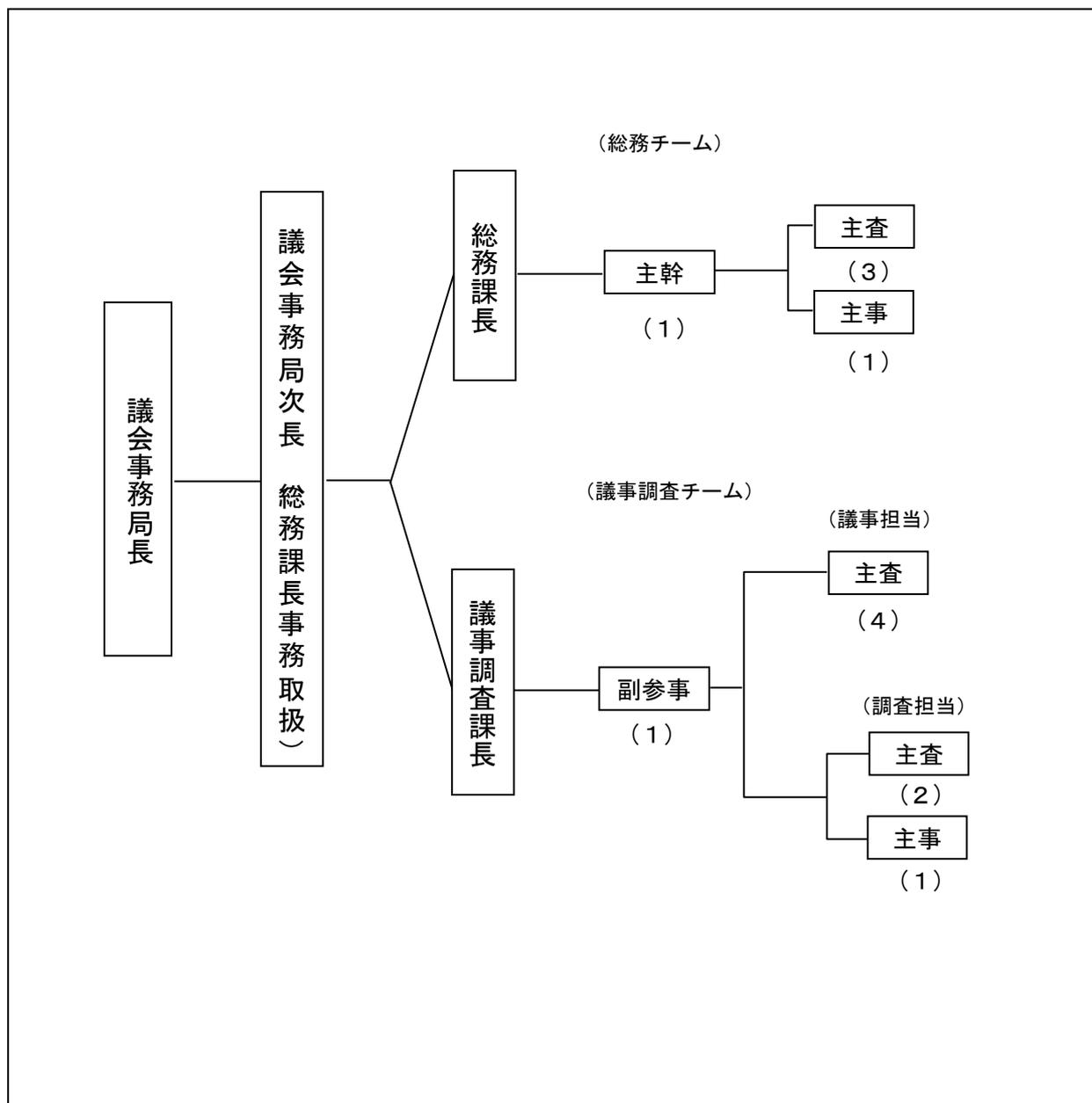
総 記	歴 史	社会科学	自然科学	技 術
41	367	1,136	48	46
産 業	芸 術	言 語	文 学	計
100	47	53	10	1,848

(4) 平成28年度図書購入関係予算

677 千円

Ⅶ 議会事務局

1 議会事務局機構図（平成 28 年 4 月 1 日現在 定数 22 名 現員 16 名）



※総務課に 3 名の臨時職員を配置

※議事調査課に 1 名の臨時職員を配置

2 事務分掌

(総務課)

1. 文書及び公印に関する事項
2. 議員の身分、報酬及び費用弁償に関する事項
3. 議員の表彰に関する事項
4. 議長会及び議員共済会に関する事項
5. 議員及び職員の出張に関する事項
6. 秘書、儀式、交際に関する事項
7. 職員の人事及び諸給与に関する事項
8. 予算、決算及びその他の経理に関する事項
9. 物品の購入及び管理に関する事項
10. 議事堂の使用に関する事項
11. 政務活動費に関する事項
12. 局内事務の連絡調整に関する事項

(議事調査課)

1. 文書に関する事項
2. 本会議、委員会及び協議会等に関する事項
3. 公聴会に関する事項
4. 議案その他付議案件の調整に関する事項
5. 請願書及び陳情書等の受理並びに処理に関する事項
6. 会議の通知及び議員の出欠席に関する事項
7. 議事の日程の作成及び諸通告に関する事項
8. 議会の行う選挙に関する事項
9. 傍聴人に関する事項
10. 議決事項等の処理に関する事項
11. 会議録の保管に関する事項
12. 議決証明に関する事項
13. 議会の速記に関する事項
14. 会議録の調製に関する事項
15. 議会情報管理（議会会議録検索システム等）に関する事項
16. 市政調査に関する事項
17. 規則等の制定、改廃及び関係法規の研究に関する事項
18. 各種の調査資料の収集、整理保存及び交換に関する事項
19. 広報に関する事項
20. 議会図書室に関する事項
21. 議会史に関する事項

Ⅸ 議 事 堂 の 概 要

(1) 概要

- ① 所在地 青森市中央一丁目 22 番 5 号
- ② 建築面積 1,118.15 m²
- ③ 延べ面積 3,428.05 m² (地上 4 階 塔屋 2 階)
- ④ 構造 事務局棟及び議場棟 (1、2 階) : 鉄筋コンクリート造
議場 : 鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造
- ⑤ 設備 電気・拡声・電話・冷暖房・給排水衛生・空調
- ⑥ 工事費 3 億 5,200 万円
内訳 ① 建築 2 億 1,678 万円
② 電気 3,415 万円
③ 設備 6,398 万円
④ その他 3,709 万円
- ⑦ 工期 着工 昭和 47 年 7 月 4 日 / 竣工 昭和 48 年 5 月 20 日

(2) 階別面積 (平成 28 年 4 月 1 日現在)

階	室 内	面積 (m ²)	階	室 内	面積 (m ²)
一階	守 衛 室	20.00	三階	議 長 室	78.00
	運 転 手 控 室	145.00		副 議 長 室	26.00
	機 械 室 そ の 他	137.00		正・副議長応接室	39.00
二階	第 1 議員控室 (新 政 無 所 属 の 会)	341.00	三階	局 長 室	39.00
	第 2 議員控室 (無 所 属)			議 場	397.00
	第 3 議員控室 (自 民 清 風 会)			事 務 局	117.00
	第 4 議員控室 (日 本 共 産 党)			市 政 記 者 控 室	19.50
	第 5 議員控室 (市 民 ク ラ ブ)				
	第 6 議員控室 (社 民 党)	39.00	四階	第 1 委員会室	78.00
	第 7 議員控室 (公 明 党)	39.00		第 2 委員会室	65.00
	議会図書室	26.00		第 3 委員会室	78.00
議員応接室	117.00	第 4 委員会室	78.00		
議員サロン		ミキサー室	19.00		
		物 置	39.00		

資 料 編

I	議 長 等 一 覧	5 6
II	市 長 等 一 覧	6 3
III	議 会 運 営 委 員 会 申 し 合 わ せ 事 項	6 4

I 議長等一覧(平成28年4月1日現在)

歴代議長

順位	氏名	就任年月日	満期(辞任)年月日
初代	間山 勲	H 17. 4. 12	H 18. 11. 25
2	奥谷 進	H 18. 11. 27	H 21. 3. 25
3	渋谷 勲	H 21. 3. 25	H 22. 11. 25
4	花田 明仁	H 22. 11. 26	H 24. 12. 25
5	丸野 達夫	H 24. 12. 25	H 26. 11. 25
6	大矢 保	H 26. 11. 26	現在

歴代副議長

順位	氏名	就任年月日	満期(辞任)年月日
初代	奈良 祥孝	H 17. 4. 12	H 18. 11. 25
2	中川 勅使男	H 18. 11. 27	H 21. 3. 25
3	舘山 善一	H 21. 3. 25	H 22. 11. 25
4	仲谷 良子	H 22. 11. 26	H 24. 12. 25
5	秋村 光男	H 24. 12. 25	H 26. 11. 25
6	竹山 美虎	H 26. 11. 26	現在

監 査 委 員（議会選出）

氏 名	就任年月日	満期（辞任）年月日
工 藤 豊 秀	H 17. 5. 19	H 18. 11. 25
福 士 銀 一	H 17. 5. 19	H 18. 11. 25
工 藤 徳 信	H 18. 12. 20	H 20. 12. 1
花 田 明 仁	H 18. 12. 20	H 20. 12. 1
工 藤 徳 信	H 20. 12. 18	H 22. 11. 25
花 田 明 仁	H 20. 12. 18	H 22. 11. 25
渋 谷 勲	H 22. 12. 22	H 24. 11. 30
奈 良 祥 孝	H 22. 12. 22	H 24. 11. 30
奈 良 祥 孝	H 24. 12. 25	H26. 11. 25
小 倉 尚 裕	H 25. 3. 25	H26. 11. 25
丸 野 達 夫	H 26. 12. 25	現 在
赤 木 長 義	H 26. 12. 25	現 在

青森地域広域消防事務組合議会議長

順位	氏 名	就任年月日	満期（辞任）年月日
初代	柿崎 西松	S 47. 5. 27	S 49. 3. 7
2	鹿内 富士保	S 49. 3. 29	S 51. 3. 8
3	山口 甚吾	S 51. 3. 24	S 53. 3. 7
4	伊藤 豊	S 53. 3. 29	S 55. 3. 10
5	鈴木 彰	S 55. 3. 24	S 57. 3. 7
6	佐井 武松	S 57. 3. 30	S 59. 3. 5
7	木村 誠悦	S 59. 3. 23	S 61. 3. 7
8	工藤 徳信	S 61. 3. 28	S 63. 3. 14
9	成田 友三郎	S 63. 3. 25	H 元. 10. 17
10	秋元 武栄	H 元. 12. 18	H 2. 3. 7
11	木村 隆徳	H 2. 3. 29	H 4. 3. 11
12	船橋 繁雄	H 4. 3. 25	H 6. 3. 7
13	阿保 文雄	H 6. 3. 30	H 8. 3. 7
14	工藤 豊秀	H 8. 3. 27	H 10. 3. 7
15	奥谷 進	H 10. 3. 30	H 12. 3. 8
16	前田 保	H 12. 3. 27	H 13. 3. 19
17	桜田 文寛	H 13. 3. 26	H 14. 3. 7
18	間山 勲	H 14. 3. 29	H 16. 3. 2
19	奈良 祥孝	H 16. 3. 25	H 17. 3. 31
20	坪 清美	H 17. 6. 29	H 18. 11. 25
21	嶋田 肇	H 18. 12. 21	H 20. 12. 1
22	鳴海 強	H 20. 12. 19	H 22. 11. 25
23	里村 誠悦	H 22. 12. 24	H 24. 11. 30
24	渋谷 勲	H 24. 12. 27	H 26. 7. 1
25	大矢 保	H 26. 7. 25	H 26. 11. 25
26	花田 明仁	H 26. 12. 25	H 27. 3. 31

※ 消防事務組合議会議長は、青森市選出の消防事務組合議会議員が選任されている。（青森地域広域消防事務組合は昭和47年4月1日に発足）

※ 青森地域広域消防事務組合は平成27年3月31日で解散し、同年4月1日に青森地域広域事務組合と統合

青森地域広域事務組合議会議長

順位	氏 名	就任年月日	満期（辞任）年月日
初代	舘 山 善 一	H 3. 3. 28	H 4. 3. 11
2	木 村 清	H 4. 3. 24	H 6. 3. 7
3	鶴 谷 義 則	H 6. 3. 29	H 8. 3. 7
4	蝦 名 政 雄	H 8. 3. 22	H 10. 3. 7
5	神 文 雄	H 10. 3. 30	H 12. 3. 8
6	坪 清 美	H 12. 3. 27	H 12. 10. 2
7	大 矢 保	H 12. 10. 2	H 14. 3. 7
8	小笠原 正 勝	H 14. 3. 29	H 16. 3. 2
9	工 藤 豊 秀	H 16. 3. 25	H 17. 3. 31
10	斎 藤 憲 雄	H 17. 9. 22	H 18. 11. 25
11	里 村 誠 悦	H 18. 12. 21	H 20. 12. 1
12	柴 田 久 子	H 20. 12. 19	H 22. 11. 25
13	藤 田 誠	H 22. 12. 24	H 24. 11. 30
14	小豆畑 緑	H 25. 3. 26	H 26. 11. 25
15	渋 谷 勲	H 26. 12. 25	現 在

※広域事務組合議会議長は、青森市選出の広域事務組合議会議員から選任されている。（青森地域広域事務組合は平成3年2月1日に発足）

名 誉 議 員

議会議員として30年以上市勢の発展に寄与し、退職した者（死亡による退職の場合、または退職後死亡した場合にはその遺族）に対し、議会の決議をもって名誉議員の称号を贈るものである。（平成17年4月12日規程）

羽 賀 銀次郎 元議員（1884年～1977年） （昭和51年3月27日逝去）

（議員在職期間 昭和3年12月～昭和7年12月・昭和11年4月～昭和42年5月）

昭和3年12月の当選以来、7期35年余りにわたり在職、青森市議会保安常任委員長や青森市選挙管理委員を務めた。

昭和35年 2月 青森県褒賞授与。

昭和35年10月 藍綬褒章授与。

昭和40年 4月 勲四等瑞宝章授与。

昭和42年 3月 青森市議会名誉議員の称号授与。

昭和51年 3月 従五位授与。

三 上 惣之進 元議員（1903年～1994年） （平成6年11月7日逝去）

（議員在職期間 昭和15年4月～昭和49年3月）

昭和15年4月の当選以来、8期34年余りにわたり在職、青森市議会衛生保安常任委員長、青森市議会建設常任委員長、青森市監査委員などを歴任したほか、昭和44年12月からの4年余りは議長の重責を務めた。

昭和49年11月 勲四等瑞宝章授与。

昭和52年 3月 青森市議会名誉議員の称号授与。

平成 6年11月 従五位授与。

木 村 清 元議員 〈1936年～2012年〉 （平成24年9月12日逝去）

（議員在職期間 昭和38年5月～昭和45年2月・昭和45年3月～平成10年3月）

昭和38年5月の当選以来、連続9期34年余りにわたり在職、青森市議会経済建設常任委員長、青森市議会議会運営委員長などを歴任したほか、青森市農業委員や青森市広域事務組合議会議長を務めた。

平成 元年12月 青森県褒賞授与。

平成10年 6月 青森市議会名誉議員の称号授与。

平成11年 4月 勲四等瑞宝章授与。

中 村 勝 巳 元議員 〈1925年～2011年〉 （平成23年1月22日逝去）

（議員在職期間 昭和45年3月～平成14年3月）

昭和45年3月の当選以来、連続8期32年にわたり在職、青森市議会新幹線対策特別委員長、青森市議会予算決算特別委員長などを歴任したほか、長年にわたり青森市農業委員を務めた。

平成13年11月 青森県褒賞授与。

平成14年 6月 青森市議会名誉議員の称号授与。

五 戸 三次郎 元議員 〈1936年～ 〉

（議員在職期間 昭和42年5月～平成22年11月）

昭和42年5月の当選以来、連続11期43年余りにわたり在職、青森市議会大学誘致対策特別委員長や青森市農業委員を歴任したほか、平成2年からの4年間は議長の重責を務めた。

平成18年11月 青森県褒賞授与。

平成22年12月 青森市議会名誉議員の称号授与。

工 藤 徳 信 元議員〈1936年～ 〉

(議員在職期間 昭和53年3月～平成22年11月)

昭和53年3月の当選以来、連続8期32年余りにわたり在職、青森市議会総務常任委員長、青森市議会新幹線対策特別委員長などを歴任したほか、平成13年3月から2年余りは議長の重責を務めた。

平成20年11月 青森県褒賞授与。

平成22年12月 青森市議会名誉議員の称号授与。

館 山 善 一 元議員〈1941年～2012年〉 (平成24年1月8日逝去)

(議員在職期間 昭和53年3月～平成22年11月)

昭和53年3月の当選以来、連続8期32年余りにわたり在職、青森市議会総務企画常任委員長、青森市議会議会運営委員長などを歴任したほか、平成21年3月から1年余りは副議長の重責を務めた。

平成15年11月 藍綬褒章。

平成22年12月 青森市議会名誉議員の称号授与。

Ⅱ 市長等一覧(平成28年4月1日現在)

歴代市長

順位	氏名	就任年月日	満期(辞任)年月日
初代	佐々木 誠造	H 17. 4. 24	H 21. 4. 23
2	鹿内 博	H 21. 4. 24	H 25. 4. 23
3	鹿内 博	H 25. 4. 24	現在

歴代副市長

順位	氏名	就任年月日	満期(辞任)年月日
初代	佐藤 健一	H 19. 4. 1	H 20. 9. 30
2	米塚 博	H 20. 10. 1	H 21. 4. 23
3	加賀谷 久輝	H 21. 6. 1	H 25. 5. 31
4	加賀谷 久輝	H 25. 6. 1	現在
	佐々木 淳一	H 27. 6. 24	

歴代浪岡区長

順位	氏名	就任年月日	満期(辞任)年月日
初代	長谷川 行惇	H 17. 7. 1	H 19. 6. 30
2	長谷川 行惇	H 19. 7. 1	H 21. 4. 23
3	福士 芳巳	H 21. 5. 11	H 23. 5. 10
4	福士 芳巳	H 23. 5. 11	H 25. 5. 10
5	福士 芳巳	H 25. 5. 11	H 27. 5. 10
6	工藤 清泰	H 27. 5. 11	現在

Ⅲ 議会運営委員会申し合わせ事項

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

1 議会運営委員会の運営

- (1) 議会運営委員会の決定については、極力全会一致となるよう努めるものとする。
- (2) 議会運営委員会の委員の定数については、議会運営委員会規約に基づき、各会派から選出できる委員数の総数が条例定数以内の場合は、条例を改正しないものとし、条例定数を上回る場合は、条例を改正するものとする。
- (3) 委員外議員の取り扱いは、次のとおりとする。
 - ・ 議会運営委員会に委員 2 人以上を選出している会派の場合
 - ア 委員が 1 人でも出席できるときは、原則として欠席委員の代理者に対し委員外議員としての出席の要請をしない。
 - イ 委員全員が出席できないときは、原則として一委員の代理者に対し委員外議員として出席の要請をする。
 - ・ 議会運営委員会に委員 1 人を選出している会派の場合
委員が出席できないときは、その代理者に対し委員外議員として出席の要請をする。
 - ・ 議会運営委員会に委員を選出できない無所属の場合
一議員に対し委員外議員として出席の要請をする。
 - ・ 委員外議員席は委員長が指定し、名札を置く。
 - ・ 委員外議員が発言する場合は、委員長の許可を得なければならない。
 - ・ 出席の要請をされた委員外議員には費用弁償を支給する。ただし、議長及び副議長には支給しない。
 - ・ 委員外議員は、議会運営委員会の視察に参加できない。

2 市長提出議案の取り扱い

- (1) 市長提出議案は、人事案を除き原則として委員会付託するものとする。
- (2) 市長提出議案は、原則として招集告示日に議会運営委員会で理事者からの説明後、議員控室の自席に配付する。
- (3) 人事案を除く追加議案は、事前に議会運営委員会の了承を得た上で会期

中の総括質疑の対象となるように提出してもらう。なお、それ以後に提出されたものについては、最終日上程し即決とする。人事案は最終日上程し即決とする。

3 議員提出議案の取り扱い

- (1) 議員提出議案は、原則として開会日から受け付けし、翌日の午後5時までに提出するものとする。ただし、当日が市の休日に当たる場合はその翌日の午後5時までとする。
- (2) 意見書及び決議については、原則として最終日上程し、委員会付託を省略し即決とする。
- (3) 条例案の取り扱いについては、議会運営委員会でその都度協議する。

4 一般質問

- (1) 一般質問は、原則として4日間をもって消化する。
ただし、一般質問の通告者が多い場合は、5日間をもって消化する。
- (2) 一般質問の所要時間は、質問と答弁までを含め1人60分以内とし、原則として質問又は答弁の途中における休憩は行わないこととする。
- (3) 一般質問の通告書は告示と同時に受け付けし、開会日2日前の正午までとする。ただし、当日が市の休日の場合は、その前日の正午までとする。
- (4) 通告内容は具体的に記入し、通告外の質問は許可しない。
- (5) 通告書には、答弁を含め予定される所要時間を60分以内で記載する。
- (6) 発言時間は、発言者が演壇に到着したときをもって計測を開始する。ただし、やむを得ない理由による質問又は答弁の途中における休憩の場合は、計測を停止する。
- (7) 発言の順序は議会運営委員会において抽選により決定する。
- (8) 原則として、1日目は各会派1人とする。ただし、1日目に全会派が一般質問することができない場合等の対応については、議会運営委員会で協議する。
- (9) 内容が重複するもの及び内容を是正する必要があると認められるものについては、あらかじめ議会運営委員会において調整を図る。
- (10) 1回目の質問及び答弁は登壇して行い、2回目以降の質問及び答弁は自

席で行う。

- (11) 一般質問実施要領は、下記のとおりとする。

一般質問実施要領

項 目	内 容
1 趣 旨	市民、傍聴者によりわかりやすい議会を目指し、一般質問に一問一答方式を導入する。
2 発言通告	質問項目は、表題・要旨に2分類し、詳細に記載する。
3 質問方式	選択制 ①一問一答方式（質問回数 制限なし） 1 回目の質問…一括質問・一括答弁 2 回目以降の質問…一問一答 ②一括方式（質問回数 制限なし） すべて一括質問・一括答弁
4 質問時間	① ② 理事者答弁を含め60分
5 質問・答弁場所	① ② 1 回目のみ演壇で一括して行い、2 回目以降は自席で行う。
6 質問順序	① ②原則、発言通告番号の順に行う。
7 答弁順序	① ② 1 回目は答弁者ごとにまとめて答弁し、2 回目からは原則、質問順に行う。

《運用ルール》

- (1) 発言通告書は、質問事項を具体的に記載し、表題、要旨の2項目に分類し、質問趣旨の明確化を図る。

また、数値に関する詳細な質問については、可能な限り通告することとし、答弁できない事態を避けるように努める。

- (2) 「市長の政治姿勢について」又は「地域問題について」の質問項目を通告する場合、小項目まで質問事項を明記する。

- (3) 質問、質疑の通告に当たっては、事前に聞き取りに応じることとする。
また、発言通告書に聞き取り日時の記入欄を設け、記入がない場合は、議長は発言通告書を受理しないこととする。

- (4) 次の質問事項に入る場合は、「次に、〇〇〇について再質問します。」のように、質問の区切りが明確になるように努める。

- (5) 質問方式は一問一答方式または一括方式の選択制とし、どちらの方式も通告事項がすべて質問できるように、1 回目の質問及び答弁は演壇にて一括で行い、2 回目以降の質問及び答弁は自席で行う。

- (6) 一括方式の質問では、再質問で取り上げなかった質問事項（小項目がある場合は小項目ごと）について、改めて再質問することはできない。
- (7) 一問一答方式の質問では、終了した質問事項（小項目がある場合は小項目ごと）に戻って再質問することはできない。
- (8) 一問一答方式は1つの問いに対し、答弁を返す方式であるため、原則、複数の問いをまとめて質問することはできない。
- (9) 質問の趣旨確認のため、議員に対する質問趣旨の確認の機会を付与する。

5 質疑

- (1) 市長提出議案に対する質疑は、原則としてすべての議案を一括議題とし総括質疑として行う。
- (2) 総括質疑の通告は開会日から受け付けし、会期中の一般質問2日目正午までとする。
- (3) 通告内容は具体的に、特に予算案、決算案にあつては款項まで記入し、通告外の質疑は許可しない。
- (4) 発言の順序は議会運営委員会において抽選により決定する。
- (5) 内容を調整する必要があるものについては、一般質問の例による。
- (6) 所管委員会（予算及び決算特別委員会を含む。）の委員は、所管にかかわる議案についての総括質疑を遠慮する。
- (7) 発言は自席で行う。

6 緊急質問

- (1) 緊急質問は、あらかじめ議会運営委員会の了承を得た上で、議会の同意を得て行う。
- (2) 通告内容は具体的に記入し、通告外のものとは許可しない。

7 常任委員会（協議会を含む。）

- (1) 市民の負託にこたえ議会活動を活発化させるために、毎月定例的（原則として21日）に常任委員会を開催するものとする。なお、継続審査事件を審査する場合は委員会とし、その他報告事項等を協議する場合は協議会

として開催する。

(2) 正副議長は、それぞれ異なる常任委員会に所属するものとする。

8 特別委員会

(1) 常態的に存在する特別委員会は、定例会と定例会の間に開催し、継続審査を議決の上、議長へ閉会中の継続審査を申し出る。

(2) 次の定例会において、本会議に閉会中の継続審査（調査）申出書を配付し、議長が会議に諮り議決する。

(3) 常態的に存在する特別委員会にあっては、正副議長は、それぞれ異なる特別委員会に所属するものとする。

9 予算特別委員会

(1) 予算案はすべて、第1回、第2回及び第4回定例会においては25人、第3回定例会においては20人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査する。

(2) 委員は各会派の所属議員数に応じ按分するものとし、無所属議員の取り扱いについては、議会運営委員会でその都度協議する。

(3) 委員には、議長を選任しないものとする。

(4) 開催日数は、第1回においては3日間とし、第2回、第3回及び第4回定例会においては2日間とする。

(5) 反対が明確な議案については、予算特別委員会及び本会議における予算案の採決の際、一括採決とする。

(6) 予算特別委員会内の事実上の協議機関として、正副委員長のほか各会派から理事を1名選出し、理事会を設ける。なお、無所属議員が委員となった場合は、オブザーバーとして理事会への出席を求める。

(7) 予算特別委員会開催要領は、下記のとおりとする。

予算特別委員会開催要領

(1) 開催日数について

① 第1回定例会においては、3日間開催する。

② 第2回、第3回及び第4回定例会においては、2日間開催する。

(2) 会議時間について

午前10時から午後5時までとする。

(3) 休憩時間について

昼食のため60分、また、午後トイレタイムとして適宜30分程度設ける。

(4) 発言時間（答弁を含む）について

ア 会派持ち時間制（小数点以下は切り捨て）とする。

会派持ち時間＝実質会議時間÷全議員数×会派所属議員数

※ 3日間開催の場合

実質会議時間 930分 = 会議時間 420分×3日 - 休憩時間 90分×3日 - 採決に要する時間 60分

〔会派所属議員数と会派持ち時間の関係〕

会派所属議員数（人）	11	10	9	8	7	6	5	4	3
会派持ち時間（分）	286	260	234	208	182	156	130	104	78

※ 2日間開催の場合

実質会議時間 600分 = 会議時間 420分×2日 - 休憩時間 90分×2日 - 採決に要する時間 60分

〔会派所属議員数と会派持ち時間の関係〕

会派所属議員数（人）	11	10	9	8	7	6	5	4	3
会派持ち時間（分）	187	170	153	136	119	102	85	68	51

イ 質疑者数は会派にゆだねるものとする。

ウ 各委員の発言時間は、会派持ち時間内で融通することができる。

エ 会派持ち時間の計測は、担当書記において行う。

10 決算特別委員会

(1) 決算案はすべて、20人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査する。

(2) 委員は各会派の所属議員数に応じ按分するものとし、無所属議員の取り扱いについては、議会運営委員会での都度協議する。

(3) 委員には、議長及び監査委員である議員を選任しないものとする。

- (4) 開催日数は、2日間とする。
- (5) 反対が明確な議案については、決算特別委員会及び本会議における決算案の採決の際、一括採決とする。
- (6) 決算特別委員会内の事実上の協議機関として、正副委員長のほか各会派から理事を1名選出し、理事会を設ける。なお、無所属議員が委員となった場合は、オブザーバーとして理事会への出席を求める。
- (7) 決算特別委員会開催要領は、下記のとおりとする。

決算特別委員会開催要領

- (1) 開催日数について
2日間開催する。
- (2) 会議時間について
午前10時から午後5時までとする。
- (3) 休憩時間について
昼食のため60分、また、午後トイレタイムとして適宜30分程度設ける。

- (4) 発言時間（答弁を含む）について

ア 会派持ち時間制（小数点以下は切り捨て）とする。

会派持ち時間＝実質会議時間÷全議員数×会派所属議員数

※ 実質会議時間

実質会議時間 会議時間 休憩時間 採決に要する時間
600分 = 420分×2日 - 90分×2日 - 60分

〔会派所属議員数と会派持ち時間の関係〕

会派所属議員数（人）	11	10	9	8	7	6	5	4	3
会派持ち時間（分）	187	170	153	136	119	102	85	68	51

- イ 質疑者数は会派にゆだねるものとする。
- ウ 各委員の発言時間は、会派持ち時間内で融通することができる。
- エ 会派持ち時間の計測は、担当書記において行う。

11 委員長報告

- (1) 本会議最終日の委員長報告は、「委員会に付託された議案名（請願・陳情を含む）及び審査結果」を朗読するものとし、主たる質疑応答については、委員長報告書を作成の上、議員及び議場に入場している理事者へ配付する。配付した委員長報告書の内容を本会議の会議録に掲載する。
- (2) 委員会における閉会中の継続審査事件は、最初に報告する。
- (3) 議会運営に関する事項については、委員長報告を省略する。
- (4) 委員長報告に対する質疑は、あくまでも委員会の審査経過及び結果に対する疑義、少数意見に対する疑義をただす範囲に限られ、議案等に対する質疑は審査を重複することになり許されない。
- (5) 答弁は委員長が行うべきであり、市当局に代理答弁を求めることは許されない。ただし、修正案が提出された場合は、その修正に伴う関係予算等について必要に応じて、市当局が代わって答弁することは差し支えない。
- (6) 委員長が答弁する場合は私見を加えることは許されない。
- (7) 委員長は必要に応じて副委員長に補足説明させることができる。

12 本会議最終日の質疑・討論の通告締め切り

- (1) 本会議最終日に行う質疑・討論の通告締め切りの日時は、予算特別委員会最終日の午後5時とする。ただし、予算特別委員会の閉会時刻が午後4時を過ぎた場合は、その締め切りを翌日の正午まで延長するものとし、その日が市の休日に当たる場合は、その翌日の正午までとする。
- (2) 不測の追加議案で本会議最終日に市長から提出されるものに係る質疑・討論の通告締め切り日時は、上記(1)にかかわらず、議会運営委員会でその都度協議する。

13 起立採決における着席者の取り扱い

起立採決の際着席したままの者は、問題を否とする者とみなす。

14 常任委員（協議）会、特別委員会、議会運営委員会及び議会改革検討委員会の記録作成

- (1) 常任委員（協議）会、特別委員会、議会運営委員会及び議会改革検討委

員会（以下「委員会等」という。）の会議概要（記録）は全文反訳をもとに作成するものとする。

- (2) 予算特別委員会及び決算特別委員会の会議概要は、次の定例会前に本会議の会議録とあわせて議員及び関係する理事者へ配付する。また、それ以外の委員会等の会議概要は、会議の2カ月後を目途に議員及び関係する理事者へ配付する。
- (3) 会議概要の配付は電磁的方法を用いるものとする。

15 請願・陳情

- (1) 請願は、開会日の翌日の午後5時（当日が市の休日の場合は、その翌日の午後5時）までに提出されたものについては、所管委員会に付託の上、審査し、それ以後に提出されたものについては、会期の最終日において所管委員会に閉会中の継続審査事件として付託する。ただし、緊急を要するものについては、最終日の本会議で審査することができる。
- (2) 複数項目の請願が提出された場合は、内容が密接不可分で分割することができない場合を除き、1項目ずつの請願が提出されたものとして取り扱う。
- (3) 複数項目の請願が提出された場合において、項目を分割できるかどうかについて疑義があるときは、議会運営委員会での取り扱いについて協議する。
- (4) 閉会中に提出された請願については、議長がその都度受理し、次の議会において所管の委員会に付託する。
- (5) 請願の紹介
 - ア 正副議長は紹介議員となることを遠慮する。
 - イ 正副委員長及び委員は自己の所属する委員会に係る請願の紹介議員となることを遠慮する。
- (6) 国政に係る請願については、類似の議員提出議案と調整する。
- (7) 陳情については、議長呈覧とし、受理の都度、その写しを各会派及び無所属議員に配付する。
- (8) 議員は、受理した陳情のうち、その内容に賛同するものについては、紹介議員となるよう努め、陳情者に対し請願として提出するよう働きかける

ものとする。

- (9) 受理した陳情のうち、上記(8)によらず委員会に付託して審査すべきとの意見が議員から出されたものについては、議会運営委員会で随時その取り扱いを協議し、委員会に付託して審査するかどうかを決定する。
- (10) 上記(9)の結果、委員会に付託して審査することが決定した陳情については、当該決定が開会日の翌々日(当日が市の休日の場合は、その翌日)までになされたときは、所管委員会に付託の上、審査し、それ以後に当該決定がなされたときは、会期の最終日において所管委員会に閉会中の継続審査事件として付託する。ただし、緊急を要するものについては、最終日の本会議において審査することができる。
- (11) 委員会に付託して審査することが決定した陳情については、上記(2)及び(3)を準用する。

16 要請及び要望書

要請及び要望書等については、常任委員会の審査を経ないで、議長呈覧とする。

17 議員派遣

- (1) 地方自治法第100条第13項及び会議規則第169条に基づく議員派遣については、総括質疑の日及び最終日に議決するものとする。なお、総括質疑の日に議決するものについては、一般質問初日正午までに申し込むものとし、最終日に議決するものについては、予算特別委員会最終日までに申し込むものとする。
- (2) 行政視察先の選定に当たっては、市民の誤解を招くことのないよう慎重に対応するものとする。
- (3) 行政視察の実施に当たっては、視察の実効性を高めるとともに、透明性を確保するため、原則として視察相手先へあらかじめ依頼文書を送付するものとする。ただし、視察の性質上、事前の依頼文書の送付が困難である場合は、視察報告書にその経過等を記載するものとする。
- (4) 改選期における行政視察は、選挙前の早い時期に実施するよう努めるものとし、任期最終の定例会終了後は、やむを得ない事情のない限り自粛す

るものとする。

18 議会基本条例の研修

- (1) 青森市議会基本条例第 21 条第 2 項の規定に基づく研修については、全議員を対象に議長が行う。
- (2) 議長は、研修を行うに当たっては、必要に応じて助言・支援等を得ることができるものとする。
- (3) 本研修会は、議員派遣の対象とする。

平成 28 年 7 月発行

青森市議会要覧 平成 28 年度版

編集・発行 青森市議会事務局

青森市中央一丁目 22 番 5 号

電話(017) - 734 - 5743 (直通)

FAX(017) - 734 - 5824

ホームページアドレス <http://www.city.aomori.aomori.jp/gikai/top.html>

メールアドレス gikai-gijichosa@city.aomori.aomori.jp